

市議会だより

12月定例会

- 令和2年度一般会計補正予算案を可決
- 公の施設の指定管理者の指定についてなど可決

目次

議案の審議	②
委員会の審査	③
議決結果・人事案件	④
市政に対する一般質問 ...	⑤～⑩
陳情・意見書	⑪
市議会案内板	⑫



議案の審議

■一般会計補正予算など24件を議決

12月定例会は、11月27日から12月18日までの22日間（うち会期延長3日間）開かれ、市長提出議案21件、議員提出議案2件、その他1件について審議等を行い、議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

市長提出議案

⑧1 飯能市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員並びに埼玉県及び近隣市の職員の給与と改定状況を勘案し、令和2年12月期の再任用職員以外の職員に係る期末手当の支給割合を100分の125に改め、令和3年度から、6月期及び12月期の支給割合を100分の127・5に改めるため提案するもの。

問 職員組合との協議状況は。

答 人事院勧告等の内容を説明し、組合側からは全国的な新型コロナウイルス感染症の影響ということで同意を得て、覚書を締結した。

⑧3 令和2年度飯能市一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億8702万9千円を追加し、総額をそれぞれ397億8163万円とし、繰越明許費の設定、債務負担行為の追加、地方債の変更を行うため提案するもの。

主な追加の内容(万円未満切り捨て)

歳入	
国庫支出金	1億 633万円
繰入金	△5,958万円
市債	2億5,380万円
歳出	
財政調整基金積立金	4,726万円
地区行政センター施設管理事業	1億1,130万円
保育所施設管理事業	1億4,250万円
生活保護扶助事業	1億3,995万円

問 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止したイベントの事業数等は。

答 イベント数は27事業、不用額は総額約5657万円。

問 不用額を積立てた財政調整基金について、今後の使用方針は。

答 今後の歳入減への対応、収支均衡を図るために活用するとともに、臨時交付金を活用した第3次緊急経済対策を検討しているため、その財源としての活用を考えている。

問 加治東地区行政センター及び加治東保育所の耐震補強改修工事について。

答 当初予算で設計業務委託料を計上し、ここで概算工事を算出できたので計上したものの、充当率100%、交付税措置率70%の緊急防災・減災事業債を活用し、工事等の関係により全額を繰越明許費とした。新施設の特徴は、エレベーター棟の増設や待機児童対策のひとつとして児童の受け入れ枠の拡大につなげるため、新たな保育室を設けることなどである。

問 当初予算で設計業務委託料を計上し、ここで概算工事を算出できたので計上したものの、充当率100%、交付税措置率70%の緊急防災・減災事業債を活用し、工事等の関係により全額を繰越明許費とした。新施設の特徴は、エレベーター棟の増設や待機児童対策のひとつとして児童の受け入れ枠の拡大につなげるため、新たな保育室を設けることなどである。

問 母子家庭等高等職業訓練促進給付金の給付状況は。

答 介護士や准看護師を目指す4名に給付している。

⑧4 令和2年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

事業勘定の歳入歳出それぞれに1億4657万6千円を追加し、南高麗診療所勘定の歳入歳出それぞれに4万1千円を追加し、名栗診療所勘定の歳入歳出それぞれから17万9千円を減額するため提案するもの。

問 国民健康保険財政調整基金積立金の残高は。

答 令和元年度末時点の残高は、約2億8194万円であり、令和2年度末の残高もほぼ同額の予定である。

⑨2 令和2年度飯能市水道事業会計補正予算（第2号）

収益的支出の営業費用は配水等の修繕費を増額し、総係費の負担金を増額した。

問 配水及び給水費の修繕費の増額要因は。

答 令和2年度の上半期に昨年同期の1・4倍の漏水件数があったこと、大口径管の漏水など1か所当たりの費用が高額なものも発生したことによる。

⑨3 令和2年度飯能市下水道事業会計補正予算（第1号）

資本的収入は国庫補助金を増額し、資本的支出の処理場建設改良費は委託料を増額した。

問 資本的収入における国庫補助金の増額要因は。

答 県内自治体から社会資本整備総合交付金の不用額が出たため追加要望をしたところ、追加配分される内示を受けたことによる。

問 資本的支出における処理場建設改良費の増額要因は。

答 社会資本整備総合交付金の内示により浄化センターの沈砂池ブロー棟の耐震診断を1年前倒しで実施するため。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的により詳しく審査するため、総務教育、生活福祉、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。
1 2月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務教育委員会

⑧3 令和2年度飯能市一般会計
補正予算(第8号)

●人件費の減額は、期末手当の改定に伴う割合変更によるものと人事異動等に伴う見直しによるものであること。

●職員の時間外勤務は、イベントや事業が中止となる中、コロナ対応のための新事業を行っている部署もあるので対応にあるが、職員に負荷がかからないよう努力していること。

●中学校費の会計年度任用職員人件費は、中学校の教員代員が県費で任用されるまでの間、市費で任用するための予算計上であること。

生活福祉委員会

⑧3 令和2年度飯能市一般会計
補正予算(第8号)

●ふるさとほんのう応援事業は、現在8か所のポータルサイトで受付しているふるさと納税の寄附受入れが見込みにより増額するための補正であること。

●加治東地区行政センターの耐震補強・改修工事は、1階北側側面に耐震スリット3か

所を入れること、外壁の劣化部分の地下補修すること、屋上の防水層の更新を行うこと、11人乗りのバリアフリー対応エレベーターを設置すること等であること。

●生活保護扶助事業のうち医療扶助1億円超の増額については、入院件数及び入院単価の増によること。

●要保護児童等に関する情報共有システムは、国が児童相談所と市町村で夜間・休日も含めた情報の共有ができる仕組みを予定しており、市の家庭児童相談システムと連携できるよう機能追加するものであること。

⑧4 令和2年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

●コロナ禍における本市の国民健康保険の医療費については、令和2年4月から8月までの診療分が昨年度より約8・9%減少していること。

⑧9 令和2年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第3号)

●システム改修の主なものは、今まで総合事業を利用していただく方が要介護認定を受けた場

合も引き続き総合事業を利用することが可能となったこと、12月末に介護報酬が改定されること等であること。

⑨4 公の施設の指定管理者の指定について(飯能市高齢者福祉施設敬愛園)

●施設は建築後約20年を経過するが、修繕計画に基づき緊急性の高いものから予算の範囲で修繕していること。

経済建設委員会

⑧3 令和2年度飯能市一般会計
補正予算(第8号)

●今回の補正に係る農業次世代人材投資資金の対象者は、米、小麦、大豆等を経営作物として埼玉県特別栽培農産物認証を目指していること。

●舗装打換工事の箇所は、川寺上野線の飯能中央地区行政センターから稲荷分署人口交差点までの区間で特に舗装状況の悪い3か所、併せて約280mであること。

⑨2 令和2年度飯能市水道事業会計補正予算(第2号)

●大口径の漏水は、本郷配水場から旧飯能地区に配水をしてい

る口径500ミリの管が老朽化によりピンホールが開いた状況であったこと。

⑨5 公の施設の指定管理者の指定について(飯能市ふれあい農園施設)

●ふれあい農園施設の取組状況は、バーベキュー事業、総合管理棟での飲食の提供、研修室の貸出し、栗拾い等の交流事業であること。

●今後の経営に対する市の支援については、指定管理料の支払いのほか、鳥獣被害対策支援や埼玉県と連携した農業の技術支援等も実施したいと考えていること。

⑨6 公の施設の指定管理者の指定について(飯能市林業センター)

●森林経営管理制度の施行に伴い、飯能市全体の森林のうち特に森林管理に対する所有者の意欲の薄れた森林は、市や西川広域森林組合が中心となり一括管理することができれば理想と考えていること。

●西川広域森林組合の経営は、ここ3年連続で決算が黒字化を実現しており、確実に経営改善が進んでいること。

令和2年12月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案

※表の見方:○は賛成の議員、×は反対の議員、「欠」は欠席の議員

議案番号	議席番号・議員名 議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決結果
		新井 重治	坂井 悦子	関田 直子	大津 力	野口 和彦	内田 健次	平沼 弘	栗原 義幸	中元 太	松橋 律子	滝沢 修	山田 利子	新井 巧	金子 敏江	加藤由貴夫	砂長 恒夫	鳥居 誠明	加浦 弘貴	野田 直人	
94	公の施設の指定管理者の指定について (飯能市高齢者福祉施設敬愛園)	○	×	○	○	○	○	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
95	公の施設の指定管理者の指定について (飯能市ふれあい農園施設)	○	×	○	○	○	○	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
96	公の施設の指定管理者の指定について (飯能市林業センター)	○	×	○	○	○	○	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※平沼弘議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案等

※表の見方:議案番号の「議提」は議員提出議案の略

議案番号	議案名	議決結果
79	飯能市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
80	飯能市の市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
81	飯能市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
82	飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
83	令和2年度飯能市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
84	令和2年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
85	令和2年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第2号)	原案可決
86	令和2年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算(第1号)	原案可決
87	令和2年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算(第2号)	原案可決
88	令和2年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算(第2号)	原案可決
89	令和2年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
90	令和2年度飯能市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
91	令和2年度飯能市訪問看護ステーション特別会計補正予算(第1号)	原案可決
92	令和2年度飯能市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
93	令和2年度飯能市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
97	市道路線の認定について(大字中居地内)	原案可決
98	令和2年度飯能市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
諮問2	人権擁護委員候補者の推薦について(井上 貢一 氏)	異議はない
議提8	住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書	原案可決
議提9	犯罪被害者支援の充実を求める意見書	原案可決
	議員派遣の件	派遣

市議会傍聴のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本会議及び委員会等の傍聴については、できる限りの自粛をお願いしています。

傍聴される方には、以下のお願いをしています。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

- 1 咳エチケット、マスクの着用
- 2 手洗い及び傍聴席入り口での手指消毒
- 3 他の傍聴者との間隔をあけた着席



井上 貢一 氏

人権擁護委員大川戸恒治氏が令和3年3月31日をもって任期満了となるので、新たに井上貢一氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。

人権擁護委員候補者の推薦について

人事案件



野田 直人（みどりの会）

日本一の市政を目指して

問 大久保市長は、就任直後には、子ども医療費の中学生までの無償化を実現し、その後の中学生までの子どもインフルエンザ予防接種費用の無償化、不妊治療助成制度の創設、ゼロ歳児おむつ無償化など女性と子どもにやさしいまちづくりを進めてきた。また、大河原工業団地の企業立地100%を達成したほか、大平きのご研究所の誘致、自主財源確保のための、ふるさと納税拡充を図った。あけぼの子どもの森公園には、トーベ・ヤンソン氏の名を冠するとともに、北欧風のカフェをオープンした。また、先月就任された入間市の杉島市長と大変深い親交があり、杉島市長の掲げる「公約2020」の政策宣言には、「元加治駅に南口を開設し、阿須・あけぼの公園へのアクセスの利便性向上を図る」という文言が盛り込まれたと聞いている。他にもメッツァの誘致、ムーミンバレーパークの開設は、飯能市の歴史、世界の歴史に残る大きな出来事である。市長は、一時期体調を崩されたが、見事にカムバックを果たされた。ここで市長に、市長選3期目に出馬するのかないのか、お聞かせ願いたい。

答 私は、飯能市が勢いを増してきたと。飯能に住んでよかった。そして、飯能に住みたいと。飯能はまさに人を惹きつける魅力があるまちでなければならないと思っている。体調も万全、そして飯能市が発展可能性都市へと移ったこの時期、ぜひ発展都市へとする。ぜひご理解を頂き、住んでよかった飯能、住みたい飯能に次の4年間、しっかりとやっていきたい。



市政に対する



一般質問とは、市の行政全般について市長（執行部）に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。

質問する議員は、質問内容を事前に通告します。

原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は11人の議員が登場しました。

一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されているQRコードから、該当議員の動画をご覧いただけます。

（ ）の中は会派名です。



大津 力 (NEXTはんのう)

第5次飯能市総合振興計画前期
基本計画について

問 交流人口480万人にむけて、どのような観光施策に取り組んできたか、都市回廊空間の構築、山間地域への人の誘導は。

答 メッツァビレッジ、ムーミンバレーパークのグランドオープンを契機に、大きな人の流れを生み出し、トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園、天覧山・飯能河原周辺を結ぶトライアングルゾーンを都市回廊空間として、魅力向上に取り組み交流人口は約410万人まで飛躍的に増加した。山間地域への人の流れをつくる方策として、名栗地区の農林産物加工直売所をノーラ名栗としてリニューアルした。ノーラ名栗では、従来からの名栗まんじゅうなどの地場産品の製造、販売に加え、北欧風のBBQ、薪ストーブを使用したテントサウナ、さらには西川材を使用したステージを建築し、観光的視点を取り入れた新たな魅力を発信している。

問 転入・転出の社会増減の状況は。

答 平成26年が112人の減だったが、平成27年には17人の増とプラスに転じ、平成28年は166人の増、平成29年は186人の増、平成30年は38人の増、令和元年は265人の増となっている。

問 「飯能住まい」制度の成果は。

答 今までに30家族、97人から申請をいただき、既に18家族、55人の方が本市に移住された。

問 「飯能住まい」制度の対象エリア拡大についてはどうか。

答 南高麗地区における飯能住まい制度の対象エリア拡大に向け、現在、埼玉県と協議を行っている。拡大後の具体的なエリアや開始時期等については、埼玉県知事との協議が整ったら、改めて報告する。



内田 健次 (飯能みらい)

投票率向上のために
森林・林業・木材産業活性化の
ために

問 2021年は市議選、市長選、衆院選と3回の選挙が行われる予定であるが、各々の前回の投票率の状況と分析は。

答 市議選50.3%、市長選42.76%、衆院選52.52%である。一般的に投票率には様々な要素があるが、全国的にも低落傾向である。

問 以前から「その自治体の成熟度を表している」と申し上げているが、どのような施策を行うか。

答 啓発活動として、若年層に向けては中学校の生徒会選挙への投票箱の貸し出し、市内県立高校では主権者教育、また、駿大生による選挙サポーターの活動として期日前投票所の立会や駿輝祭での模擬投票、高校生への主権者教育の協力。その他広報はんのう、市ホームページ、駅前の街頭啓発を行っている。

問 移動期日前投票所の導入については。

答 適所がなく、管理執行に難点がある等現段階では難しい。

問 投票率の目標値を設定すべきでは。

答 天候などに左右されるので具体的には困難だが、一人でも多くの投票を望み、研究を続ける。

問 2019年4月に森林経営管理法が施行されたが、市では森林・林業・木材産業活性化のためにどのような施策を講じるか。

答 水源地域間伐事業や木材安定供給を実現するスマート産業に取り組む。また、林業だけでなく、観光や教育健康づくり、スポーツなど憩い学びの場として利活用を進め、林業不振にあえぐ自治体のモデルとなるような「飯能モデル」として全国に発信していきたい。

問 主導は。

答 西川広域森林組合や西川地区木材業組合、飯能市森林認証協議会や西川地域スマート林業協議会などと協力し役割を果たす。





新井 巧（日本共産党）

運転免許自主返納者に支援策をタブレット活用で十分な検証を求める

問 連日のように、高齢者の事故が報道され、不安が高まっている。運転免許証の自主返納、自治体での支援の状況はどうか。また、公共交通網の乏しい飯能市として、吾野地域で始まった住民主体のらくらく交通を含めたタクシー利用券やバス回数券交付など支援をしてほしいが。

答 返納は令和元年度は前年より150件増えている。県内ではバス回数券や割引、タクシー利用券の発行など50自治体で何らかの支援をしている。迷っている方に返納を促す方策としては有効と考えるが、市としてはまず、交通手段が不十分な地域に必要な移動手段を確保することを重点的に進めていく。

問 全国をみると生活保護基準の1.5倍程度以下の方には入院だけでなく、外来にも窓口払い減免を認めている自治体もある。白内障などはほとんどが入院ではなく、日帰り手術となっている。経済困窮の中で、国保の窓口負担減免を入院だけでなく、外来まで拡大してほしいが。

答 現在は拡大を検討していないが、日帰り手術であっても、入院施設があって入院としての診療報酬を請求するような場合には対象になる。

問 全児童・生徒にタブレットが導入されたが、依存症や視力低下など健康被害が指摘されている。養護教員・教師と市教委が連携し、健康問題等を検証しながら活用することが重要では。

答 視力低下など定期的な検診体制で子どもたちの健康を守っていく。

問 タブレット導入で、補助対象外の負担が5年間で5億2千万円にもなる。第一小学校など多くの学校で雨漏りやトイレの故障、エアコンが古く効かないなどの実態がある。教育環境整備の予算が後回しになるようでは困るが。

答 タブレット同様、施設整備も重要。安全、安心のために教育環境を整備していく。



「運転免許の自主返納」
埼玉県警察チラシ



加瀬 弘貴（飯能みらい）

令和3年度予算編成について
阿須小久保線阿須工区について
阿須東部地区への下水道整備

問 来年度はコロナ禍での経済活動の停滞で企業業績、個人所得の落込みから市税の大幅な減収が懸念される。歳入の見通しと歳出の方針は。

答 今年度当初予算比で大きな減収を見込んでいる。政策効果の高い事業を取捨選択し、重点施策のシンボルプロジェクトを基本に生活支援、事業者支援、社会保障など切れ目なく実施する。また新型コロナウイルス感染症対策について、本市独自の第3次緊急経済対策を国の方針が示され次第、補正予算を編成するなど素早く講じる方針。

問 重点施策としてシンボルプロジェクトに掲げている阿須小久保線阿須工区の事業予算について双柳岩沢線が本年度末に国道299号市役所入口交差点まで供用開始となる。また、西武線の跨線橋工事も順調に進み令和3年度末に完成とのことから、阿須工区について新年度での道路整備が求められてくる。優先度の高い事業と思うが来年度の方針は。

答 引続き権利者の方と用地交渉を進めており来年度には工事に着手できるよう全力で取り組む。

問 阿須小久保線阿須工区が開通すれば、国道299号までの未開通の阿須小久保線の迂回路ができ道路ネットワークの強化、利便性の向上が期待できる。全力で取り組むとの力強い答弁をいただいた。来年度に予算化し事業を進めていただくようお願いする。また、阿須工区の道路整備に合わせて阿須東部地区の下水道整備を進める方針と伺っているが状況は。

答 阿岩橋右岸側から県道富岡入間線まで道路整備に併せ下水道を整備する方針で準備を進める。

要望 長年にわたり要望してきたが、道路との一体整備の効果に加え、下水道整備への地域住民の期待は高い。下水道整備についても来年度には予算化し、ぜひとも地域住民の長年の期待に応えていただくよう市長にも重ねてお願いする。



令和3年3月末に開通予定の双柳岩沢線
国道299号市役所入口交差点付近





鳥居 誠明 (清風会)

第5次飯能市総合振興計画・精明
東部の土地利用について
行財政改革について

- 問** 後期基本計画はどのように策定していくか。
- 答** 策定期間を1年先送りとした。これまでの重要施策を引き継ぎ森林の有効活用に挑戦したい。
- 問** これからのまちづくりでの地域課題とは。
- 答** 農業・山間地域の人口減少や高齢化。流動人口を市域全体に誘導し地域の活性化に繋げる等。
- 問** 令和7年度の目標人口は8万人だが11月現在7万9千人である。達成の見通しと計画は。
- 答** 平成27年度から社会増となっているが自然減が大きく人口減となった。全力で取り組む。
- 問** 農のある暮らし「飯能住まい」や「空き家バンク制度」により転入された方の人数は。
- 答** 両制度で43家族、106人が転入された。
- 問** 「飯能住まい」制度の精明東部への展開は。
- 答** 農地法等の規制があり同地区への導入は困難。
- 問** 商工業の振興支援で前期実績と後期の取組は。
- 答** 新規出店促進事業や創業支援事業等の補助制度を商工会議所と共に行った。今後も継続する。
- 問** 企業誘致で新規雇用の今年度末目標と実績は。
- 答** 目標は1,500人で実績は1,883人だった。
- 問** 企業誘致の目的は定住人口の増加。新規雇用は増えたが人口減少している。更なる推進を。
- 答** 企業誘致は労働年齢も若く人口増に繋がる。さらなる誘致や起業・出店等で雇用創出に努める。
- 問** 未耐震化の避難所は付近の民間に協力依頼を。
- 答** 働きかけを行っている。決まれば公表する。
- 問** 市街地の雨水排水整備の今後の取組は。
- 答** 冠水等の状況に応じて基盤整備を進めていく。
- 問** 飯能駅周辺は総合的に見直し整備が必要だが。
- 答** 流動人口を商業地へ誘導、防災対策、民間の共同住宅による整備等を今後も進めていく。
- 問** 精明東部の調整区域、農業用地の規制緩和を。
- 答** 関係機関と連携し企業の農業参入等を図る。
- 問** 第7次飯能市行政改革では数値目標の設定を。
- 答** 次期計画では成果等をどう表すか検討する。



中央通り



山田 利子 (日本共産党)

阿須山中問題で市長の政治姿勢
を問う

- 問** 阿須山中問題についてTBSの「噂の東京マガジン」を見た方も含めて、私どもの市民アンケートでは豊かな自然を破壊しサッカー場とメガソーラーを建設することに反対する声が、7割になっている。「加治丘陵の自然を考える会・飯能」からも工事の中止と計画の白紙撤回を求める13,500人を超える署名が市長に提出されている。市教育委員会も「飯能のお宝スポット」として紹介してきた自然の宝庫だ。市有地であり、調査もせずに民間に貸し出し大規模開発させるなどとんでもない。また、市はこの事業が地方創生事業であり、本体はボカジュニアのサッカー練習場で、メガソーラーはその付帯設備であるかのように説明しているが、県の森林審議会でも、「メガソーラーありきではないか」「サッカー練習場はメガソーラー施設の調整池になっている」と指摘されている。加治丘陵の市有地に大規模なメガソーラー施設を造るという本当の狙いを覆い隠してきたではないか。そして、公募規定にある公募期間中は「接触の禁止」がある。期間以前のつながりについて、事業者と市長のつながりは以前からあり、公募の日にはアルゼンチン大使館を訪問し大使と撮った写真を事業者の事業提案書に掲載している。市長のお墨付きでありまさに市長案件・市政私物化ではないか。
- 答** 私が何か悪者、疑惑というふうなことを言われたが、この事業に関して私は逃げないぶれないを信条においてこれからも堂々とやっていく。どなたと会っても、不正がなければいいのではないか。決してそのことに関して、うちの方でお金に絡むこととかがなく、公平公正なことで市民に会うことが、何か悪いことがあるのか。疑惑を前面に出すのはやめてほしい。



伐採され始めた阿須山中





金子 敏江（日本共産党）

新型コロナウイルス感染拡大防止対策で
介護・医療・教育・保育現場の
職員へPCR検査の徹底を

問 「埼玉県指定診療・検査医療機関」の指定病院として、飯能市内に15か所の「発熱外来PCRセンター」を設置したことが12月1日、県のホームページで公表された。発熱患者は、直接、医療機関に連絡し受診できるようになった。さらに、一度の検体採取で、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザを同時に検査できる検査キットを導入し、判別できる体制が整った。第3波が襲ってきている中で、人との接触が不可欠な介護・医療・教育・保育現場で働く職員に定期的な検査を行い、無症状者を含めた感染者の把握が必要だ。また、高齢者、基礎疾患を有する方で、希望すればPCR検査が受けられるように、検査費用への助成を実施していくべきと思う。県内26自治体で助成事業を実施するとしているが、飯能市はいかがか。

答 第1波の時は、濃厚接触者であっても症状が出ていない場合は検査が受けられないといった問題があった。その後、検査体制の充実に合わせて、施設内で発生した場合には、クラスターの発生を抑制する観点から、濃厚接触者でなくても検査対象として枠を広げ、検査を実施しているところ。現在、埼玉県では、集団において関連性が明らかでない状況の中で、複数の患者が感染するなど検査前での感染の確率が高いと考えられ、かつ、感染リスクが高いと判断される集団や組織に属するものは、新型コロナウイルス感染症にかかっている疑いがある者として検査の対象を広げるものとしている。このように、保健所を中心として、感染拡大に合わせて検査範囲も広がっており、一律に定期的な検査を実施することなく、効率的かつ効果的な検査体制が整備されている。また、検査費用の助成については考えていないが、様々な懸案事項を総合的に取り組むべきであると考えている。



坂井 悦子（日本維新の会）

地域医療構想
地域医療支援
医療費の適正化について

問 新型コロナウイルス感染症を機に、医療提供体制の課題が明確に。地域医療構想による医療機能の分化・連携が進めば課題に対応できたという指摘もある。地域主体として市の考えは。

答 埼玉県西部地域保健医療・地域医療構想協議会での市内の実情を踏まえた議論に参加。

問 案や方向性が決まれば判断するのは、コロナ禍において適切に動けるか疑問。地域医療をどう支援できるか、これまでの取組や発言は。

答 県策定の地域保健医療計画や病院整備計画に意見を求められ回答。

問 医療アクセスは社会保障制度の根幹。病床の機能分化・連携の結果、市内病院の負荷が増し、医療機関の地域偏在や受療機会の格差が生じないか懸念。医療水準維持に向けた対策の検討は。

答 地域全体として適切に今後の方向性を協議しており、市民の医療水準は維持されると考える。

問 西部地域自体で適切でも、市民の医療アクセスに影響する可能性がある。厚労省に地域医療介護総合確保基金による推進、事業交付がある。県の整備計画の範囲内で補助を要望しては。

答 協議会の議論で必要とされた場合、適切に判断。

問 戦略的な活用も可能。重点支援区域の選定制度は、国が技術的・財政的支援として地域医療介護総合確保基金の優先配分や、新たな病床ダウンサイジング支援を実施と明示している。西部区域で協議し、結論を得る努力をしては。

答 現時点では指定を受ける必要性は乏しい。

問 保険者努力支援制度は医療費の適正化に向けた取組等への支援制度。支援金増に向け、協会けんぽ等健保組合と協定等の締結を進め、連携し、効果的な保健事業を実施しては。

答 該当事業を実施し得点獲得に努力。地域団体とも連携。健保組合との連携は、市民全体の健康維持・増進の向上に寄与するため研究する。





加藤 由貴夫 (みどりの会)

市街地域における治水対策
NTTドコモとの連携
持続可能な新しい飯能に向けて

問 原町、前田、中山地区の雨水排水対策の現在の状況は。また、来年度の工事はどのように計画しているか。

答 既に設計委託を発注し、この地域の雨水排水対策で最も有効な方法を検討しているところ。地域性を考慮し、効果的、経済的かつ短期間で改善できる方策を選択し、来年度、工事まで実施できる工程を組んでいきたい。

問 NTTドコモと連携協定を締結することで、どのような可能性が広がっていくか。

答 NTTドコモでは、飯能市においてもできる限り早く5Gの環境を整えたいという意向を持っていると伺っている。先端技術の活用は、人々の暮らしがより便利で豊かになること、本市のまちづくりにおける取り組みの選択肢や、可能性が大きく広がるものと期待している。

問 土地開発公社の現在の状況はいかがか。

答 経営健全化計画において、民間売却とした土地について処分が進んでいない状況であることから、埼玉県とも調整し、市取得への変更、土地開発基金等による取得も含め、一部計画変更を行う予定である。令和4年度の解散に向け進めていく。

問 行政の継続性を基本としつつ、行財政改革、事業の見直しが必須である。「持続可能な新しい飯能」、「新しい飯能のカタチ」をどのようなものにしていこうと考えているか。

答 社会動態も引き続き増加しており、「飯能市は選ばれるまち」であると自負している。都心からの距離感も相まって、コロナ禍の逆風が追い風となっているような状況である。しっかりと足元、市民の生活、幸せを守り、発展都市として、ポストコロナ時代に向けて「魅力あふれる都市、飯能」を施策総動員で進化させ、プロモーションしていきたい。



5Gで大きく広がる可能性



滝沢 修 (日本共産党)

双柳南部地区区画整理及び岩沢
南北の道路、下水道整備は
双柳岩沢線の安全対策は

問 双柳地区の住民の方から、双柳南部地区区画整理の事業見直し説明は受けたが、今後の進め方など、よく解らないなどの声がある。十分な情報提供が必要ではないか。

答 説明会では多くの方の理解を得られたと考えている。権利者の理解・協力は不可欠であり区画整理ニュースなどあらゆる機会を通じて情報提供を行う。

問 岩沢地区では既存道路の痛みも激しい、舗装の打ち換え等が必要ではないか。

答 岩沢地区は阿須小久保線などの幹線整備を進めており、区域内の道路整備が行き届かず不便をかけている。緊急性などを考慮し修繕をしてきた。道路の穴や陥没は、市民の皆さんから連絡があれば迅速に対応する。

問 岩沢地内の下水道は、幹線整備は行われたが接続できない方が多数いる。早期の整備が必要ではないか。

答 地区内では未整備箇所が点在しており早期整備を望まれていることは認識している。道路幅が狭かったり、既設埋設物があるなどの課題はあるが、大山街道東側、岩沢郵便局と西武線の間については整備できるよう、流下計画を見直し設計を行った。

問 国道299号、市役所入口交差点付近では今年度末には開通の予定で双柳岩沢線の整備が進められている。開通すると299バイパスと直結する東西道路となり交通量も増大すると考える。川寺、笠縫、岩沢の住宅街を通る道路となるので、万全な安全対策が必要ではないか。

答 双柳岩沢線の整備と合わせ、令和3年度末の阿須小久保線整備により、交通量の増加が予想されることから、県警との間で協議を進めており開通までには必要な安全対策を実施し、さらなる安全の確保に努めていく。



国道299号市役所入口交差点



市民から 市議会へ提出

陳情

○の中の数字は陳情番号

⑤陳情書(空き家・空き地等の有効活用に限定した宅地建物取引士証の提示による固定資産税評価証明書の交付に関する件等)

提出者

埼玉県建政治連盟

彩西地区

地区長 奥富 浩

市議会から 国等へ提出

意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したもの。

住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書(抜粋)

空き家等が増える一方、高齢者、障がい者等住居確保要配慮者は増え、災害による被災者への対応も急務となっている。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、生活困窮者自立支援制度の住居確保給付金の支給決定件数は、半年間で10万件を超えている。

住まいは生活の重要な基盤であり、住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化は喫緊の課題となっている。

よって、国におかれては、左記の事項を速やかに実施するよう、強く要望するものである。

記

1 住居確保給付金の支給期間の延長、収入要件の引き上げ、支給上限額の引き上げなどを見直すこと。

2 住まいの確保に困難を抱えている人が住んでいる家をセーフティネット住宅として登録し、家賃低廉化制度を拡充すること。

3 空き家などの改修・登録に取り組む不動産業者と貸主への支援を拡充すること。

4 住宅セーフティネット制度を拡充し、原状回復費用等に係る貸主の負担軽減を図ること。

5 居住支援法人活動支援事業において、障がい者や刑務所

出所者等への支援を手厚く評価する制度を設けること。

6 生活困窮者及び生活保護受給者に対して、住まい確保のための一貫した支援を可能とする事業を継続的かつ全国で実施できるよう恒久化し、取組自治体の増加を図ること。

7 刑務所を出所した後の帰宅先の調整がなかなかつかない高齢者や障がい者等に対し、適切な帰宅先を確保するとともに、見守り支援を行う事業を創設すること。また、自立準備ホームの登録増を推進すること。

8 住生活基本法や住宅セーフティネット法等住宅施策全般において、行政の役割・責務を明確化し、抜本的な連携強化を図ること。また、地方自治体における住宅行政と福祉行政の連携強化を図ること。

9 重層的支援体制整備事業において、市町村の包括的支援体制の構築を進めること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、法務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣あて

犯罪被害者支援の充実を求める意見書(抜粋)

2004年に犯罪被害者等基本法が成立し、犯罪被害者は「個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい処遇を保障される権利」の主体であることが宣言され、犯罪被害者支援施策は一定の前進を果たした。しかしながら、犯罪被害者の多様なニーズに応えられるだけの整備は、未だ十分になされていないとは言い難い。

よって、国におかれては、犯罪被害者支援の充実を図るため、左記の事項を実施するよう強く要望するものである。

記

1 犯罪被害者が民事訴訟等を通じて迅速かつ確実に損害の賠償を受けられるよう必要な措置を講じること。

2 犯罪被害者に対する経済的支援の充実と、手続的な負担を軽減する施策を講じること。

3 公費による被害者支援弁護士制度を創設すること。

4 性犯罪・性暴力被害者のための病院拠点型ワンストップ支援センターを都道府県に設立し支援を行うこと。

5 全ての地方公共団体において、犯罪被害者支援条例が制定できるよう支援すること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、法務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣あて

策定協議会が 開催されました

議会は、飯能市の中・長期的な計画の策定過程において、市長等に対し、議会との協議の場を設けるよう求めることができます。

12月17日に飯能市水道事業中期経営計画(後期)策定協議会が開催されました。



策定協議会

市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>

飯能市議会議員選挙について

任期満了に伴う飯能市議会議員一般選挙(定数19人)の日程が、以下のとおりに決定いたしました。

告示期日…令和3年4月18日(日)

選挙期日…令和3年4月25日(日)

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索

クリック

☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。

審議の日程

12月定例会

- 11月 27日 開会
市長提出先議議案の質疑・討論・採決
市長提出その他議案の上程
- 12月 2日 会期延長
- 10日 議案質疑、議案の委員会付託
- 11日 常任委員会(総務教育・生活福祉・経済建設)
- 15日 一般質問
- 16日 一般質問
- 18日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

10月

- 7日 広報委員会
- 13日 埼玉県都市競艇組合議会定例会

11月

- 9日 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
- 10日 代表者会議
- 17日 全員協議会
- 24日 議会運営委員会
- 27日 第5回定例会(12月18日まで)
広報委員会

12月

- 17日 飯能市水道事業中期経営計画(後期)策定協議会

1月

- 7日 広報委員会

次回の3月定例会は

2月12日開会予定です。

会期日程等は2月9日頃内定します。

* 編集を終えて *

国も地方自治体も、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ対応が迫られています。国はコロナ対策として「新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金」を市町村に交付しました。コロナ対応に取組み、将来を見据えた政策に充当される交付金です。

リモートワークもすすみ、飯能市の自然に恵まれた環境の中で仕事をしたいとの声も聞きました。地方創生の言葉も定着してきました。一日も早くコロナを克服し、安心して学び、働けるような日々が来ることを願い、住んでみたいと思っただけの飯能市を皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

(滝沢)

広報委員(◎委員長 ○副委員長)

◎内田 健次 ○関田 直子 松橋 律子
滝沢 修 砂長 恒夫 鳥居 誠明

戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)
1/28~2/2、2/13~2/16、3/16~3/21

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。)

市議会だより

3月定例会

- 令和3年度一般会計予算案301億円など可決
- 国民健康保険税条例の一部改正など可決

目次

- 議案の審議・請願・要望…②・③
- 委員会の審査 …………… ④
- 議決結果 …………… ⑤
- 市議会案内板 …………… ⑥

市街地への足(飯能市乗合ワゴンの実証運行始まる)



～3月定例会一般質問について～

市議会では市役所職員がワクチン接種をはじめとした新型コロナウイルス感染症対策に専念できるよう、一般質問を実施しませんでした。

議案の審議

3月定例会が開催されました

3月定例会は、2月12日から3月3日までの20日間開かれ、市長提出議案35件、議員提出議案1件、請願2件について審議等を行い、すべて議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

定例会初日には、令和3年度予算案の概要説明が市長から行われました。

一般会計予算は前年度に比べて3億円、率にして1.0%増の総額30.1億円とし、一般会計に8つの特別会計と2つの企業会計の予算を合算した市全体の予算総額は、55.1億767万5千円となり、前年度に比べて2.8%増となりました。

コロナ禍にあつて、さらにはポストコロナに向けて、「市民一人の漏れもない幸せ」を願い、発展都市への飛躍、真の森林文化都市への躍動、行政の持続可能な発展と継続性、それに向けた大きな挑戦の気持ちをもって予算編成したとの説明がありました。

市長提出議案

⑰令和3年度飯能市一般会計予算

問 予算編成の考え方は。

答 第5次飯能市総合振興計画に掲げるシンボルプロジェクトをオール飯能体制で実行するとともに、政策効果の高い財源配分となるよう事業を取捨選択すること、公費負担の抑制を念頭に置き事業を展開すること等を予算編成基本方針とし、3年連続の増額予算とした。

問 歳入の特徴は。

答 前年度と比較し、新型コロナウイルス感染症の影響により減収見込みとした市税等の自主財源に対し、地方交付税や臨時財政対策債等の依存財源の増額により収支均衡を図ったことが特徴的である。

問 美杉台・南高麗の小中学校の児童生徒数の課題に対する検討は。

答 美杉台小中学校の児童生徒が、南高麗小中学校への通学を選択できる制度の創設に向けて両地区の自治会連合会支部長、美杉台PTA本部役員に説明を始め、今後、両地区の自治会長や保護者、学校運営協議会等に説明を行い、具体的な協議を進める予定である。

問 ゼロカーボンシティの内容は。

答 2月15日に埼玉県西部地域まちづくり協議会においてゼロカーボンシティ共同宣言を行い、①森林の整備、保全、その活用、②再生エネルギーの利用促進、③省エネルギーの促進という柱を立て、本市は①について主導的な立場で推進していく。

問 ノーラ名栗におけるグラウンドオープンの内容について。

答 単にグラウンドオープンを祝した一過性のものでなく、これから始まる名栗地域の創生に向けた各種イベントを開催する。グラウンドオープンの実行委員会には、地元住民、地元団体、市、指定管理者、フィナンシャル関係者等を考えている。

問 地域乗合事業の効果は。

答 3月10日から精明・加治地区において「飯能市乗合ワゴン」の実証運行が開始されることは、公共交通が不十分な地域から商業施設、医療機関、市役所等への移動ができる交通手段として期待される。令和3年度中に検証し、運行内容を見直して本格運行に切り替える予定である。

問 建築物耐震化促進計画の目標を達成するための施策とは。

答 木造住宅耐震診断補助金等は引き続き実施し、旧耐震基準の木造住宅で耐震診断により耐震基準を満たさな

い住宅の解体や除却に対する補助金及び安全性が確保されないコンクリートブロック塀等の除却、撤去に対する補助金を新たに創設する。

討論

反対の立場

新型コロナウイルス感染症予防や緊急経済対策など評価できるものはあるが、都市計画税が最高税率であること、福祉センター送迎バスの廃止は遠隔地の利用者を切り捨てるものであること、保育所及び学校の給食は食育の一環であり民間委託ではなく直営とすること、ノーラ名栗グラウンドオープン実行委員会への多額の補助金は市民の理解が得られないこと、阿須山中の土地の取得目的が明確でないこと等から、反対する。

賛成の立場

新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい財政運営を強いられる中、しっかりと市民に寄り添い、これからの市の発展を見据えた予算案となっている。特に長年にわたる大きな課題であった土地開発公社の債務処理及び解散に向けた予算計上は、孫の代まで負債を野放しにすることはできないという大きな判断であることから、賛成する。

④ 飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の賦課限度額を改正するため提案するもの。

問 改正の経緯は。

答 地方税法施行令については令和2年3月に改正済みであり、本市では1年遅れの令和3年度課税分から適用させるもの。令和3年度については新型コロナウイルス感染症の影響で景気の動向が不透明のため、賦課限度額は据え置く方向とのことである。

⑬ 財産の取得について

飯能市土地開発公社から飯能市大字阿須山中896番ほか4筆の土地を取得するため提案するもの。

問 本市の最終的な財政負担の試算を公開するか。

答 土地取得価格約14億円、支払利息約5億4000万円、埼玉県ふるさと創造貸付金の支払利息約2500万円と試算し、最終的な本市の財政負担は約19億7000万円となり、最終決算や経緯を説明することは当然の責務と考えている。

▼ 討論 ▲

反対の立場

サッカーグラウンド事業と大規模太陽光発電事業は地方創生に資するとしているが具体的なことが示されていないこと、事業の実態はまだまだ市民に知られていないこと等から、反対する。

賛成の立場

議会での度重なる議論を踏まえ、民間事業者の提案を求めることとし、活用が図られていない市有資産を有効活用して自主財源を確保するだけでなく、地方創生に資するすばらしい事業であるため、賛成する。

⑮ 令和3年度飯能市国民健康保険特別会計予算

歳入歳出予算の総額を事業勘定は86億6022万8千円、南高麗診療所勘定は6898万9千円、名栗診療所勘定は6874万4千円と定めるため提案するもの。

問 予算編成の考え方は。

答 国保の加入者数が年々減少している傾向を基に、歳入は税制改正の影響により減額を見込んだ。歳出も保険給付費等の減額を見込んだが、保険事業費納付金は県から示された本

算定金額を計上したため増額となり、その財源として国保税のほかには国保財政調整基金の取り崩し等で対応する。

⑮ 令和3年度飯能市後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算の総額を10億8412万5千円と定めるため提案するもの。

問 加入者の動向と予算編成の特徴は。

答 後期高齢者医療制度への加入者は、毎年平均約430人の増加傾向にあり、今後、団塊の世代が75歳になるため、加入者の増加と医療費の増加が予想される。令和3年度から保険料の納付方法の利便性拡大を図るため、コンビニエンスストアでも納付できるように委託料を新規に計上している。

▼ 討論 ▲

反対の立場

民間の健康保険組合と同様に後期高齢者医療制度の範囲内の追加事業や一般会計での保険事業を含め、医療費増加への対策を市で追加することで改善が見込めると考えるが、広域連合へ効果を見込める歳出削減の提言がないこと等から、反対する。

⑯ 令和3年度飯能市水道事業会計予算

主要な建設改良事業として老朽管布設替事業2億8071万2千円、配水管網整備事業1億5010万円、取水・浄水・配水施設等整備事業8704万7千円を予定。

問 給水量の見込みと本郷浄水場の水利権は。

答 給水量は新型コロナウイルス感染症による配水量への影響を見込み、若干の減を予定している。本郷浄水場の水利権は、浄水施設等再構築事業が完了後に水需要の動向を踏まえ、関係機関と協議していく。

▼ 討論 ▲

反対の立場

県水受水量は県水導入当初の日量1000トンまでの協定見直しを求めること、令和4年度以降の本郷浄水場の休止により水利権を失う可能性があることから、反対する。

賛成の立場

建設改良事業に重点的な予算配分がされ、中期経営計画に基づく安定供給への取組に力を入れた予算編成であること、県水受水量の見直しは高く評価でき、水利権についても関係機関と協議するとのこと、賛成する。

市民から
市議会へ提出

請 願

○の中の数字は請願番号

①「唯一の戦争被爆国・日本政府が速やかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書」を提出することについての請願

不採択（多数）

提出者

原水爆禁止飯能市協議会

事務局長 菅間 徹

外6名

②75歳以上の医療費窓口負担2割にしないよう意見書の提出を求める請願書

不採択（多数）

提出者

飯能市社会保障をよくする会

代表 野尻 一夫

要 望

2021年（令和3年）3月定例会の一般質問を通常通り行うよう要望します

提出者

平賀 千草

外3名

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的により詳しく審査をするため総務教育、生活福祉、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。
3月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号（順不同）

総務教育委員会

⑯財産の取得について

●埼玉県ふるさと創造貸付金の返済利子は、今までの借り入れ分が最低利率0・005%から借り入れできていたこと。

●事業の経緯については、広報や市ホームページで十分に周知してきたと認識していること。

（反対討論あり）

⑰令和3年度飯能市一般会計予算

●市税について、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動への影響の長期化で法人税が減少することに加え、給与所得の減少による個人市民税の減少等を見込み、前年度比約4億円の減としたこと。

●国が示した地方財政対策では、地方交付税5・1%の増額であることを踏まえ、本市の歳入見込みや歳出面でのサービス見込み等を勘案して、地方交付税を約33億円計上したこと。

●地方税収は大幅な減額を見込み、地方交付税と臨時財政対策債を一体的にして財源不足に備える考えであること。

（反対・賛成討論あり）

⑳令和2年度飯能市一般会計補正予算（第12号）

●市税の減収は交付税の増額等で補える見込みであるが、今回収債する減収補てん債等により本年度の財政運営は持ちこたえられると考えていること。

生活福祉委員会

④飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

●賦課限度額の引き上げにより約140世帯、約300人が影響を受けること。

●賦課限度額の改正は経済状況や景気動向により国が判断するもので、経済が低迷すれば下がる可能性もあること。

（反対討論あり）

⑰令和3年度飯能市一般会計予算

●乗合ワゴンの運行は本市の委託事業ではなく事業者の事業であり、本市からは補助金を支出すること。

●マイナンバーカード交付事務の業務委託は行っており、専用端末機の使用や静脈確認等の対策を講じているため、安全性は高いと考えていること。

●福祉センター送迎バスは、利

用者の減少のほか、地区ごとの移動手段の確立や公共交通機関の維持も必要なことから廃止の結論となったこと。

●保育所給食の民間委託により、民間の技術や経験を活用し、今までと同様に安全・安心、安定的な給食を提供すること。

（反対討論あり）

⑱令和3年度飯能市国民健康保険特別会計予算

●令和元年度決算では、所得500万円以上で国保税の滞納者が133人であること。

●令和4年度から未就学児は均等割が最大5割軽減となること。

（反対討論あり）

㉔令和3年度飯能市後期高齢者医療特別会計予算

●軽減特例の見直しの該当者は約2100人で一人当たり年額3130円が増額になること。

（反対討論あり）

経済建設委員会

⑬公の施設の指定管理者の指定について（飯能市さわらびの湯）

●民間譲渡も視野に入れ、当該施設の市場性等の確認をするため、調査委託料を計上したこと。

⑰令和3年度飯能市一般会計予算

●クリーンセンター施設管理運営事業について、3年間の瑕疵担保であったごみ処理施設の整備や機器等の点検整備等の費用を市が負担すること。

●ノース名栗のブランドオープンには、内覧会、ステージイベント、森林体験ツアーのほか地域の方と名栗を盛り上げるに相応しいイベントを行い、県補助金の活用も検討していること。

●カーユ工房については、施設等の譲渡を前提とした完全民営化の検討を進めており、埼玉県等と協議して課題を整理していること。

●橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、飯能大橋の修繕工事及び矢久橋の修繕設計を行う予定であること。

（反対・賛成討論あり）

㉔令和3年度飯能市水道事業会計予算

●令和4年度に浄水施設等再構築事業が終了後、本郷浄水場を休止するため、施設利用率が上がる見込みであること。

●令和3年1月末の有収率は約84%であり、だいが改善が進んでいること。

（反対・賛成討論あり）

令和3年3月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案①

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略、○は賛成の議員、×は反対の議員、「除」は除斥（※1）の議員

議案番号	議席番号・議員名	1 (欠員)	2 坂井悦子	3 関田直子	4 大津力	5 野口和彦	6 内田健次	7 平沼弘	8 栗原義幸	9 中元太	10 松橋律子	11 滝沢修	12 山田利子	13 新井巧	14 金子敏江	15 加藤由貴夫	16 砂長恒夫	17 鳥居誠明	18 加浦弘貴	19 野田直人	議決結果
議提1	平沼弘議長不信任決議		○	×	×	—	×	除	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	否決

※1 除斥：議会における審議の公正を期するために、審議事件と一定の利害関係を有する議員は、当該事件の審議に参与することができない制度のこと。
※野口和彦議員は副議長のため、採決には加わっていません。

■賛否が分かれた議案等②

※表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議席番号・議員名	1 (欠員)	2 坂井悦子	3 関田直子	4 大津力	5 野口和彦	6 内田健次	7 平沼弘	8 栗原義幸	9 中元太	10 松橋律子	11 滝沢修	12 (欠員)	13 新井巧	14 金子敏江	15 加藤由貴夫	16 砂長恒夫	17 鳥居誠明	18 加浦弘貴	19 野田直人	議決結果
4	飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	—	○	○	○	×		×	×	○	○	○	○	○	原案可決
10	令和2年度飯能市介護保険特別会計補正予算（第4号）		×	○	○	○	○	—	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
11	令和2年度飯能市訪問看護ステーション特別会計補正予算（第2号）		×	○	○	○	○	—	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
16	財産の取得について		○	○	○	○	○	—	○	○	○	×		×	×	○	○	○	○	○	原案可決
17	令和3年度飯能市一般会計予算		×	○	○	○	○	—	○	○	○	×		×	×	○	○	○	○	○	原案可決
18	令和3年度飯能市国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	—	○	○	○	×		×	×	○	○	○	○	○	原案可決
23	令和3年度飯能市介護保険特別会計予算		×	○	○	○	○	—	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
24	令和3年度飯能市後期高齢者医療特別会計予算		×	○	○	○	○	—	○	○	○	×		×	×	○	○	○	○	○	原案可決
25	令和3年度飯能市訪問看護ステーション特別会計予算		×	○	○	○	○	—	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
26	令和3年度飯能市水道事業会計予算		○	○	○	○	○	—	○	○	○	×		×	×	○	○	○	○	○	原案可決
請願1	「唯一の戦争被爆国・日本政府が速やかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書」を提出することについての請願		×	×	×	×	×	—	×	×	×	○		○	○	×	×	×	×	×	不採択
請願2	75歳以上の医療費窓口負担2割にしないよう意見書の提出を求める請願書		×	×	×	×	×	—	×	×	×	○		○	○	×	×	×	×	×	不採択

※平沼弘議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案

議案番号	議案名	議決結果
32	令和2年度飯能市一般会計補正予算（第11号）	原案可決
1	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度飯能市一般会計補正予算（第10号））	承認
2	飯能市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
3	飯能市子ども医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
5	飯能市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
6	令和2年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算（第3号）	原案可決
7	令和2年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
8	令和2年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算（第3号）	原案可決
9	令和2年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算（第3号）	原案可決
12	令和2年度飯能市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
13	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市さわらびの湯）	原案可決
14	市道路線の認定について（大字双柳地内）	原案可決
15	契約の一部変更について（小岩井元小岩井線（市道1-2602号線）道路改良工事）	原案可決
19	令和3年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計予算	原案可決
20	令和3年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計予算	原案可決
21	令和3年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計予算	原案可決
22	令和3年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計予算	原案可決
27	令和3年度飯能市下水道事業会計予算	原案可決
28	飯能市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
29	飯能市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
30	飯能市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
31	飯能市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
33	令和2年度飯能市一般会計補正予算（第12号）	原案可決
34	令和2年度飯能市一般会計補正予算（第13号）	原案可決
35	令和3年度飯能市一般会計補正予算（第1号）	原案可決



策定協議会

市議会では、飯能市の中・長期的な計画の策定過程において、市長等に対し、議会との協議の場を設けるよう求めることができます。
1月20日には、第2次飯能市教育大綱及び第3期飯能市教育振興基本計画策定協議会と飯能市介護保険事業計画及び老人福祉計画第8期計画策定協議会の2つの策定協議会が開催され、活発な議論が行われました。

策定協議会が
開催されました

市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>

我野神社

審議の日程

3月定例会

- 2月12日 開会
市長提出議案の上程・提案理由説明
議員提出議案の上程・提案理由説明・質疑・討論・採決
- 17日 議案質疑
- 18日 議案質疑、市長提出先議議案の討論・採決
議案及び請願の委員会付託
- 19日 常任委員会（総務教育・経済建設）
- 22日 常任委員会（経済建設）
- 24日 常任委員会（生活福祉）
- 25日 常任委員会（生活福祉）
- 3月 3日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・質疑・討論・採決
閉会

議会日誌

1月

- 7日 広報委員会
- 20日 第2次飯能市教育大綱及び第3期飯能市教育振興基本計画策定協議会
飯能市介護保険事業計画及び老人福祉計画第8期計画策定協議会
- 26日 代表者会議
- 29日 埼玉西部消防組合議会定例会

2月

- 2日 全員協議会
全国市議会議長会基地協議会総会（書面会議）
- 5日 広域飯能斎場組合議会定例会
- 9日 議会運営委員会
- 12日 第1回定例会（3月3日まで）
広報委員会

3月

- 29日 埼玉県都市競艇組合議会定例会

4月

- 6日 広報委員会

市議会傍聴のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本会議及び委員会等の傍聴については、できる限りの自粛をお願いしています。

また、傍聴される方には、以下のお願いをしています。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

- 1 咳エチケット、マスクの着用
- 2 手洗い及び傍聴席入り口での手指消毒
- 3 他の傍聴者との間隔をあけた着席

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索

クイック



次回の5月臨時会は
5月18日開会予定です。

また、6月定例会は
6月4日開会予定です。

6月定例会の会期日程等は6月1日頃内定します。

* 編集を終えて *

主君・織田信長のもと天下統一へ貢献した稀有な名將と知られる「明智光秀」の雄姿を描いたドラマが終わった。「世を平らにしたい」強い志に学ぶことが多くあった。

次は、深谷市生誕の「渋沢栄一」の生涯を描くドラマがスタートした。日本資本主義の父とも言われ、新一万円札の顔として注目され、この時代に初の銀行の設立、約500社以上の企業育成、大学をはじめとする教育機関の設立等、多岐にわたり活躍された人物像をこの機会に学びたい。

とても足元には及ばないが、改めて議員活動に生かせればとの思いである。

（砂長）

広報委員（◎委員長 ○副委員長）

◎内田 健次 ○関田 直子 松橋 律子
滝沢 修 砂長 恒夫 鳥居 誠明

戸田競艇場開催日（埼玉県都市競艇組合主催分）
5/1～5/6、5/21～5/24、6/12～6/17

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

（収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。）

市議会だより

5月臨時会

- 市議会議員選挙後の議会人事を決定

6月定例会

- 令和3年度一般会計補正予算案などを可決

目次

議会の人事……………	②・③
議案の審議(5月臨時会・6月定例会) ……………	④
委員会の審査……………	⑤
議決結果・人事案件……………	⑥
市政に対する一般質問・陳情 ……………	⑦～⑬
市議会案内板……………	⑭



新議員 19 人を紹介します

4月25日の市議会議員選挙で選ばれた新議員を議席番号順に紹介します。
任期は令和3年5月5日から令和7年5月4日です。

1 くまだ なおこ
熊田 尚子



笠縫222

2 はせ がわ じゅんこ
長谷川 順子



赤沢353

3 たけ だ かずひろ
武田 一宏



柳町5-15

4 パタソン ひとみ



平戸143-11

5 さかい えつこ
坂井 悦子



本人の都合により
掲載できません

6 くりはら よしゆき
栗原 義幸



川寺533-4

7 なかもと ふとし
中元 太



落合364-47

8 せき た なおこ
関田 直子



岩沢862

9 おおつ つとむ
大津 力



飯能339-6

10 のぐち かずひこ
野口 和彦



美杉台7-16-97

11 うちだ けんじ
内田 健次



原市場654-4

12 すぎた ひろし
梶田 博之



川寺38-1

13 たきざわ おさむ
滝沢 修



岩沢1146-1

14 あらい たくみ
新井 巧



井上732-7

15 かね こ としえ
金子 敏江



大河原794-1

16 かとう ゆきお
加藤 由貴夫



新町25-1

17 とりい のぶあき
鳥居 誠明



緑町13-13

18 か わく ひろたか
加涌 弘貴



美杉台2-11-5

19 の だ なおと
野田 直人



飯能1211

改選後の新体制を決定

議長に 中元太議員、副議長に 関田直子議員を選出

4月25日に市議会議員が改選されたことに伴い、5月18日に第2回臨時会が開かれました。

始めに正副議長を選挙によって決め、その後に常任委員会委員・議会運営委員会委員の選任、埼玉県都市競艇組合議会議員・広域飯能斎場組合議会議員・埼玉西部消防組合議会議員の選挙などが行われ、新しい議会の構成が決まりました。

議長・副議長就任あいさつ

～身近で開かれた議会を目指して～



議長 中元 太



副議長 関田 直子

市民の皆様には、日頃より市議会に対しまして、格別なご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

この度、私たちは4月の改選後初めて開かれました令和3年5月臨時会におきましてご推挙いただき、議長、副議長に就任いたしました。改めて職責の重大さを認識し、円滑な議会運営に力を合わせて全力で取り組む所存でございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大が市民生活に重大な影響を及ぼしている現在、市民の皆様の安全・安心の暮らしを守るため、市議会に求められる役割はますます大きくなっております。

市民の皆様から負託を受けた我々市議会として覚悟と責任を持って、皆様の声に耳を傾け、身近で開かれた議会を目指して取り組んでまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

会派の構成

◎代表者（令和3年6月4日現在）

みどりの会	◎野田 直人	加藤由貴夫
チームはんのう	◎大津 力	バタソンひとみ 野口 和彦
ネクストはんのう	◎武田 一宏	関田 直子
飯能みらい	◎加涌 弘貴	内田 健次
公明党	◎栗原 義幸	熊田 尚子 中元 太
日本共産党	◎金子 敏江	滝沢 修 新井 巧
日本維新の会	◎坂井 悦子	
無所属	長谷川順子	梶田 博之 鳥居 誠明

委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会	◎野口 和彦 加藤由貴夫	○栗原 義幸	武田 一宏	坂井 悦子	内田 健次	新井 巧
総務教育委員会	◎梶田 博之 野田 直人	○武田 一宏	長谷川順子	中元 太	野口 和彦	新井 巧
生活福祉委員会	◎大津 力	○内田 健次	熊田 尚子	関田 直子	金子 敏江	加藤由貴夫
経済建設委員会	◎栗原 義幸	○バタソンひとみ	坂井 悦子	滝沢 修	鳥居 誠明	加涌 弘貴

議案の審議

5月臨時会は、5月18日に開かれ、市長提出議案5件、その他2件について審議等を行い、すべてを議決いたしました。

6月定例会は、6月4日から22日までの19日間開かれ、市長提出議案10件、その他1件について審議等を行い、すべてを議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

5月臨時会

市長提出議案

③⑧ 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度飯能市一般会計補正予算(第2号))

歳入歳出予算の総額に、それぞれ5118万4000円を追加し、総額をそれぞれ301億6095万円とするもの。

問 特別給付金についての考え方は。

答 新型コロナウイルスの影響が長期化する中、低所得のひとり親世帯に対し生活支援を行うため、食費等の支出の増加を勘案し児童一人当たり一律5万円を支給するもの。

6月定例会

市長提出議案

④② 飯能市税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うため提案するもの。

問 扶養親族の範囲の見直しの考え方は。

答 納税義務者の担税力を低下させてしまふことのない扶養親族を控除対象扶養親族から除外とする所得税の見直しの趣旨は、個人市民税における非課税限度額の制度趣旨と合致するものであり、今回の見直しは令和6年度以降の個人市民税に適用される。

④⑥ 令和3年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ396万円を追加し、総額をそれぞれ69億3554万円とするため提案するもの。

問 システム改修が必要となる制度改正の内容は。

答 負担の均衡を図ることを大前提として大きく2つの改正があり、1点目は高額介護サービス費の負担限度額の見直しに係るもの。2点目は特定入所者介護サービス費、いわゆる補足給付における食費の見直しによるものである。

▼討論▲

反対の立場

高額介護サービス費の負担限度額が、所得に応じて最大月14万100円まで引き上げられる

こと、特定入所者介護サービス費の補足給付における食費が見直されるとともに資産要件の厳格化が盛り込まれるなど、介護保険サービス利用者に負担増をもたらすことから、反対する。

賛成の立場

高額介護サービス費は所得に応じて細分化されたものであること、食費については施設入所の方だけに給付されるのは不公平であることなど、公平性の観点から見直されたことから、賛成する。

④⑦ 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度飯能市一般会計補正予算(第3号))

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億165万5000円を追加し、総額をそれぞれ302億6260万5000円とするもの。

問 特別給付金の給付状況は。

答 ひとり親世帯以外への給付金となり、原則、令和3年度の住民税均等割が非課税の世帯等が対象となる。国が示した推計値を用いて算出したところ、対象児童は1726人を見込んでいる。

④⑧ 令和3年度飯能市一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億7492万6000円を追加し、総額をそれぞれ305億3753万1000円とするため提案するもの。

問 災害復旧費の増額理由は。

答 有間ダムの災害第217号の斜面崩壊の現場でセメントによる地盤の改良が必要なこと、赤沢地内の下原橋について、橋脚のない短径間の構造に変更したこと増額補正が必要となった。

問 保育所等支援事業の補助金の内容は。

答 加治幼稚園が令和4年4月1日から幼稚園型認定こども園に移行することに伴い、旧園舎の改修や新園舎の建設に係る施設整備等に対し、国から交付金の内示が出たもの。

問 小学校教育推進事業の内容は。

答 タブレット端末を先行導入した奥武蔵小学校及び中学校の成果がすばらしいため、広く県内に広めてほしいという趣旨で県教育委員会から情報活用能力育成推進事業の委嘱を受けたもの。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的に詳しく審査をするため総務教育、生活福祉、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。

6月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

なお、5月臨時会で上程された議案は、議事の都合により委員会への付託を省略しました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務教育委員会

④② 飯能市税条例の一部を改正する条例

●扶養親族のうち日本人・外国人を問わず年齢30歳以上70歳未満の国外居住親族は、原則として除くこと。ただし、年齢30歳以上70歳未満の者であっても留学により非居住者となった者、障害者、生活費・教育費に充てるための送金等を38万円以上受けている者のいずれかに該当する場合には、控除対象扶養親族に該当すること。

④⑦ 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度飯能市一般会計補正予算(第3号))

●子育て世帯生活支援特別給付金給付事務費交付金は、給付事業と税情報との連携が必要のため、システム改修の委託料等に充当すること。

④⑧ 令和3年度飯能市一般会計補正予算(第4号)

●認定こども園施設整備交付金は、1月に県とのヒアリングがあり、4月に交付決定されたことから今回の補正予算に計上したこと。

●情報活用能力育成推進事業では、タブレットを活用し先進的な取り組みを行っている先生を講師として招くこと等を計画していること。

生活福祉委員会

④③ 飯能市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●電磁的方法による記録の内容については、事業者の負担軽減を図る観点から、職員や児童に関する名簿、財産及び収入に関する書類などであること。

④⑥ 令和3年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第1号)

●今回の改正は3年ごとの介護報酬の改定に併せて、社会保障審議会をはじめとした専門的な会議で検討されてきたこと。

●介護サービス費は、現役並み所得がある方に相応の負担を求めるもので、年収約770万円

までは月額9万3000円、年収約1160万円以上は月額14万1000円の上限を新設する改正であること。

●補足給付は、在宅、デイサー

ビス利用、施設入所など誰でも食事をとるため、負担は公平であるという観点から見直しが行われたこと。

(反対討論あり)

④⑦ 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度飯能市一般会計補正予算(第3号))

●国の資料では夫婦と子ども2人の4人家族の場合、住民税均等割非課税相当収入限度額が255万7000円であること。

●申請期間は令和4年2月28日まで予定していること。

④⑧ 令和3年度飯能市一般会計補正予算(第4号)

●加治幼稚園の認定こども園整備について、現在の園舎の工事内容は外壁の補修塗装、屋根材の更新改修、トイレの全面改修、駐車場の整備等であり、新園舎については4歳児及び5歳児の保育室2部屋、トイレ、会議室、相談室等を設ける予定であること。

●認定こども園への移行に当たり、現在の園舎では不足する4歳児及び5歳児の保育室を新園舎として建設するものであり、3歳児の保育室がなくなるわけではないこと。

経済建設委員会

④⑧ 令和3年度飯能市一般会計補正予算(第4号)

●住宅用太陽光発電システム等設置補助金は、今年2月に埼玉県西部地域まちづくり協議会の構成市と共同でゼロカーボンシティを表明したこと、政府が2050年カーボンニュートラルを宣言していることから可能な限り継続したいと考えていること。

●地方創生推進交付金はノーマ栗の指定管理料に充当し、魅力ある地域づくり事業補助金はブランドオープン実行委員会補助金に充当して、ノーマ栗のブランドオープンセレモニーの開催に向けた諸費用に使用すること。

●阿須小久保線から産業道路までの区間整備については、阿須小久保線から双柳小学校までが昨年5月に開通し、それ以外の区間は、双柳小学校グラウンド東側の南北道路と双柳小学校正門前から産業道路までの東西道路が今年度に開通する予定であること。

●災害復旧事業の財源としている地方債は、交付税措置率が高いこと。

令和3年5月臨時会 議決結果

■全会一致の議案等

議案番号	議 案 名	議決結果
36	専決処分の承認を求めることについて（飯能市税条例等の一部を改正する条例）	承認
37	専決処分の承認を求めることについて（飯能市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
38	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度飯能市一般会計補正予算（第2号））	承認
39	公平委員会委員の選任について（平沼 則子 氏）	同意
40	監査委員の選任について（加涌 弘貴 氏）	同意
	議員派遣の件	派遣
	閉会中の継続調査申し出の件（議会運営委員会）	申出書のとおり

令和3年6月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案

表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議 案 名	議席番号・議員名																			議決結果
		1 熊田 尚子	2 長谷川 順子	3 武田 一宏	4 パタン ひとみ	5 坂井 悦子	6 栗原 義幸	7 中元 太	8 関田 直子	9 大津 力	10 野口 和彦	11 内田 健次	12 梶田 博之	13 滝沢 修	14 新井 巧	15 金子 敏江	16 加藤由 貴夫	17 鳥居 誠明	18 加涌 弘貴	19 野田 直人	
46	令和3年度飯能市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	×	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	原案可決

※中元太議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案等

議案番号	議 案 名	議決結果
41	飯能市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
42	飯能市税条例の一部を改正する条例	原案可決
43	飯能市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
44	飯能市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
45	飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
47	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度飯能市一般会計補正予算（第3号））	承認
48	令和3年度飯能市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦について（中山 亨 氏）	異議はない
49	公平委員会委員の選任について（川田 憲治 氏）	同意
	議員派遣の件	派遣

議員表彰

全国・埼玉県の各市議会議長会の定期総会において、20年以上市議会議員の職にある者として、鳥居誠明議員、加藤由貴夫議員、滝沢修議員が表彰を受けました。

◆議員20年以上
鳥居 誠明議員



◆議員20年以上
加藤由貴夫議員



◆議員20年以上
滝沢 修議員



人事案件

公平委員会委員の選任について



川田 憲治氏



平沼 則子氏

公平委員会委員萩野頼子氏が令和3年3月31日をもって委員を辞職したため、新たに平沼則子氏を選任することについて、全員同意しました。
また、公平委員会委員川田憲治氏が令和3年6月30日をもって任期満了となるので、引き続き同氏を選任することについて、全員同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦について



中山 亨氏

人権擁護委員中山亨氏が令和3年9月30日をもって任期満了となるので、引き続き同氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。

監査委員の選任について



加涌 弘貴議員

議員のうちから選任する監査委員として、市議会議員加涌弘貴氏を選任することについて、全員同意しました。



栗原 義幸（公明党）

脱炭素社会の構築に向けて
浸水対策の進捗と取り組み
顔振峠付近のトイレの課題

問 国では、2050年までに温室効果ガスの排出ゼロを目指すことが法的に位置付けられた。本市では、埼玉県西部地域まちづくり協議会において「ゼロカーボンシティ共同宣言」を表明したが、緑豊かな環境から、脱炭素へ向けた特徴的な試みも可能。今後の具体的な取り組みは。

答 本市では、1. 森林の整備と保全及びその活用、2. 再生可能エネルギーの利用・促進、3. 省エネルギーの推進等、主に3つの視点から取り組みを進め、目標達成を目指していく。

問 ここ数年の気象は、気候変動が顕在化し、台風や集中豪雨による水災害が頻発している。特に原町地区を中心とした浸水対策が急務。現在までの対策等の進捗及び取り組み状況は。

答 昨年度は基本設計委託を実施し、最も有効な対策方法として主に軽減処置と抜本的対策を検討した。軽減処置は、下水道の閉塞を防ぐスクリーンの設置や藤田堀の断面の見直し、簡易止水壁の設置等が挙げられる。抜本的対策は貯留施設の設置が必要との結果である。

問 貯留施設は広範な面積の公有地等、例えば飯能高校グラウンドや市役所駐車場等が考えられる。用地の選定についての考え方や検討状況は。

答 水利的な効果が見込めることや必要容量の確保等の必要性から飯能高校のグラウンドも候補と考えるが、県との協議等が課題である。

問 奥武蔵グリーンラインの顔振峠付近は、気軽に山登りが楽しめる人気のスポット。併せてコロナ禍の影響で、来訪者も増加傾向である。しかし観光トイレがないことから、お店や近隣世帯では来訪者のトイレの対応に苦慮している。観光トイレや仮設トイレ等は検討できないか。

答 周辺は、未給水地区でもあり、し尿の処理や清掃、日常のメンテナンス等の維持管理が大きな課題である。諸課題を整理し検討したい。



奥武蔵グリーンライン顔振峠



市政に対する



一般質問とは、市の行政全般について市長（執行部）に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。

質問する議員は、質問内容を事前に通告します。

原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は12人の議員が登壇しました。

一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されているQRコードから、該当議員の動画をご覧いただけます。

（ ）の中は会派名です。



熊田 尚子(公明党)

コロナ禍の子ども・子育て支援
生理の貧困問題への対応
HPVワクチンについて

問 コロナ禍での児童・生徒の心に寄り添う支援について、各学校での状況は。

答 コロナ禍の不安とストレスを受け止め、心に寄り添った対応をしていくことは大変重要と認識している。個別面談を行い定期的な記述調査を実施するとともに、さわやか相談員やスクールカウンセラーにSOSを出すことができる体制を整えている。また、各学校・教育センターで保護者の悩みにも寄り添えるよう、電話や面談等、随時受け付け、保護者との十分な情報共有と連携を図り、今後も迅速な対応に努めていく。

問 生理の貧困と言われる問題について、経済的な理由やネグレクトなどで生理用品が買えない問題への対策として、小中学校の個室トイレで生理用品を無償提供できないか。

答 家庭の経済的状況や虐待、ネグレクト等の問題に気づけるよう、アンテナを高くして対応し、現在は保健室で保管し必要とする児童生徒に生理用品を無償提供している。今後子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、提供方法、提供場所等について最善となるよう、管理職、養護教諭等と協議していく。

問 子宮頸がん予防（HPV）ワクチン定期接種について、国がHPVワクチンに関する現状をわかりやすく整理した新リーフレットを発表し、市町村にも活用を求めている。最新情報である新リーフレットを最終学年である高校1年生へ郵送により通知できないか。

答 今年度の取り組みとしては、既に小学校6年生の女子児童に対し、個別通知を発送している。他の接種年齢の対象者に対しても接種を希望される方が接種の機会を失うことがないよう市のホームページや広報はんのうを活用し、周知の徹底を図り、今後も動向を注視して、最適な接種環境が維持できるよう、検討を重ねていく。

厚生労働省
子宮頸がん予防リーフレット

大津 力(チームはんのう)

森林文化都市創造について
飯能河原について
銀座通りについて

問 株式会社大林組との循環型森林利用に関する基本協定の内容は。

答 連携・協力事項は、①地域と連携した循環型森林利用に関すること、②地域と連携した西川材の需要拡大に関すること、③森林資源を有効活用する木材コンビナートに関すること、④地域の新たな魅力創出に向けた森林の多面的活用に関すること、⑤森林共生都市の構築による地方創生に関することである。

問 飯能河原の利用者数を抑制する効果も考えて、飯能河原でバーベキューをする利用者から入場料を徴収するというのはいかがか。

答 埼玉県では今年度から新たに、官民連携のもと商業利用も可能な魅力的な水辺空間を創出する「水辺deベンチャー事業」を開始した。市では本事業の候補地登録を行い、当該事業の活用も含め、飯能河原を市民の皆さんや観光客が、より快適に過ごせる魅力のある空間となるよう、有料化なども含め検討したいと考えている。

問 河川内でマナーを守らない利用者に注意できるよう、警備員を配備することはできないか。

答 河川内での行動に対する注意に関しては、難しい状況だが、周辺道路、生活区域での駐停車やゴミの投棄などの防止には効果が期待できることから、しっかりと検討したい。

問 銀座通りの一方通行の逆走に関して、事故を起さないためにも、早急に対策をお願いしたいが。

答 早速、飯能警察署とも情報の共有をさせていただき、その対策についても連携を取りながら検討したい。



飯能銀座商店街





武田 一宏（ネクストはんのう）

G I G Aスクール構想の今後
災害に強い地域づくり
無観客での催しの開催

問 現在の公立小中学校の授業におけるタブレット利用の進捗状況は。

答 全ての教室で児童生徒が主体的に活用している。

問 教職員へのサポート体制は。

答 担当者会議をオンラインで実施し、学校間の情報共有、活用上の疑問や問題点の解決を行っている。また、各学校内で授業を公開し合う校内研究や疑問を聴き合える同僚性を構築しサポートを行っているほか、市教委の担当指導主事が、校内研修への支援や指導助言を行っている。

問 学習ソフトや電子教科書の導入などの予定は。

答 今後の導入に向け検証を行っている。

問 子どもをネット犯罪等から守るための保護者向けのタブレットの使い方指導やネット犯罪防止啓発等はどの程度行われているか。

答 「保護者向け手引き」を作成し配布したほか、保護者向け研修会等を計画し、インターネットリテラシーの向上について対応していく。

問 予定されているタブレットの更なる活用法は。

答 海外在住の方とリアルタイムでの交流やWeb会議システムでの授業、職員会議資料、学校だより、PTA広報などの電子配布で業務効率化を図る。

問 コロナ禍の自主防災組織の活動状況は。

答 昨年度、防災訓練を実施した団体は14団体、出前講座を実施した団体は41団体である。

問 活動事例の周知はされているのか。

答 各自主防災組織へ感染防止対策を講じたうえで実施可能な訓練や各家庭で行う訓練内容の事例一覧を作成し広報紙やHPにて発信している。

問 無観客でも市民会館で催しが開催できるよう配信環境を整えてはどうか。

答 配信設備の完備は多額の費用がかかってしまうが、インターネット回線のための設置であれば、初期費用、維持管理費ともに安価に行えるので、利用要望等も含めて調査・研究を行う。



G I G Aスクール構想



新井 巧（日本共産党）

運転免許証自主返納者へ支援を
豪雨災害を防ぐため河川整備を

問 高齢者の事故や免許証返納の実態を見てみると85歳以上の事故が大変多く、75歳以上からの返納が急速に増えている。高齢化率が高い飯能市にとって深刻な課題だ。県内で、50の自治体がバス代、タクシー券の補助など独自の支援をしている。加治・精明地区で始まった「乗合ワゴン」を中山・中居など他の市街地へ運行エリアを拡大することやバス代補助、吾野地域で始まった住民タクシー「奥武蔵らくらく交通」を含めたタクシー利用券などの支援ができないか。

答 乗合ワゴンのエリア拡大は難しい。移動・交通ネットワークを構築していくことが最優先の課題。運転免許証返納者への支援策は今後、研究・検討を進めていく。

問 今年度、中藤地域の交通のあり方を検討することになっている。中藤地域は、国際興業バスが運行しているが、利用者は少ない。住民の声を聞いての私案だがワゴン車等で、これまでバスが乗り入れられなかった地域も循環し、倉掛峠から土屋医院やエコス、新寺方面を循環することなどを検討できないか。

答 具体的な案がまとまり次第、交通協議会、議会に示した後、地域に出向き検討を進めていく。提案の地域循環については、検討を進める上での参考とする。

問 床上浸水した唐竹、国道299号まで冠水した井上・虎秀地域の高麗川など、河床のしゅんせつ（土砂撤去）や草木など障害物の除去、護岸の嵩上げなどはどうなっているか。

答 県土整備事務所に確認したところ、唐竹については堆積土砂の掘削工事を発注した。大型土のうを設置してある箇所は構造物設置を計画。高麗川については測量を実施し、掘削工事、障害物除去と工事範囲を検討中とのことである。



草木が生えた河床





パタソンひとみ(チームはんのう)

豪雨災害防災対策
同性パートナーシップ制度導入
サスティナブルなまちづくり

問 豪雨災害による旧東吾野小学校の土砂崩れの復旧と、避難所の利用開始はいつになるか。

答 復旧については、学校法人早稲田学園と市との協議を進める中で併せて協議していく。校舎は避難所として現在も利用できる。

問 近年の豪雨により土砂を含んだ水流が河川へ運ばれ川底に堆積することで、水位を上げる原因になると思うがどのような対策をしているか。

答 県管理であり、堆積土砂の測量を実施済。今年度は掘削工事を実施する予定で、測量結果に基づき工事範囲の調整中である。

問 切り捨て間伐が豪雨時に河川へ流れ、家屋や橋脚、護岸の破損、川に堆積し氾濫の原因となったが森林管理保全対策で改善できないか。

答 間伐材が移動しないよう等高線に平行に整理。増水により流出しないよう措置。家屋や道路、急傾斜地で滑落、流出しないよう措置。この3点を徹底し個人や事業者には注意喚起している。

問 ペットがいるので避難できないという方々への避難所の対応は。

答 避難所での衛生面、アレルギーの面などを留意し屋外などに持参のゲージを置ける場所を確保し、大型犬はつなぐ場所を設置していく。

問 同性パートナーシップ制度の導入と広域での相互協定の必要性が今あると考えるがいかがか。

答 社会的に承認される制度により安心の社会づくりをダイアのまちづくり協議会とも検討する。

問 持続可能な開発目標の取り組みについて、国外のグリーンスクールや木更津市のオーガニックシティプロジェクトなどを参考にしているか。

答 SDGsの7、13、15番が該当する。森林整備、保全及び自然体験、環境教育への西川材の活用。ゼロカーボンシティへの取り組みの再生可能エネルギーの推進を近隣4市と連携しサスティナブルな環境負荷の軽減を進める。



グリーンスクール室内



長谷川 順子(無所属)

阿須山中メガソーラー問題
地元の説明会、市有林の伐採木
コ克蘭の移植について

問 初めて市が説明会に加わったのは、工事着工3日前、2020年10月11日。その後、住民の要求で11月29日に再度行われた説明会では多くの住民から不安の声が上がった。12月9日には、阿須地区の住民78名の連名で大野埼玉県知事に対して、事業の執行の即時停止と許可処分の取消しを求める行政不服審査請求が出された。これまでの説明が不十分だったのでは。

答 TBSの「噂の東京マガジン」は、本事業の説明・紹介内容が著しく不足していることから、地元の皆様と対話することでその不安を少しでも取り除くことができるのではないかと考え、自治会の要請に応じて市と事業者が説明を行ったものである。

問 伐採木の取り扱いについて、市民からの質問に、市は「伐採搬出、加工等に係る費用を見積もったところ、伐木の売払いによって生じる見込みの利益を大幅に上回ったことから、その利益を事業者が負担した伐採等に係る費用に充てることとしている。」と回答しているが、伐採した樹木の売却代金は100%、市の収入とすべきではないか。

答 売り上げ代金については相手方に委ねる形の措置をとったので、市の収入になるということではない。

問 売却先の事業者名は。

答 処分先は把握していない。

問 コ克蘭を踏んだとする証拠は何か。それは確実な証拠なのか。確実な証拠もなく事実と反する内容を市HPでいつまで公開し続けるのか。

答 コ克蘭を踏みつけた証拠となる写真や録音記録はない。市では報告書、職員の聞き取り調査の結果により内容が事実であると認定。現在のところ撤回する考えはない。



『阿須山中市有林』の伐木のほんの一部





内田 健次 (飯能みらい)

投票率向上のための施策
ノーラ名栗について
森林・林業施策について

問 今回の市議選の投票率とその分析は。

答 投票率は47%。コロナ等により前回より低下。

問 コロナ禍での対応は。

答 マスク着用、距離の確保、鉛筆等の消毒を行い感染症対策を徹底した。

問 投票率向上の策だが、県選管が3月に発表した「投票率向上に関する報告書」から、期日前投票所の増設がよいと読み取れた。是非実現してほしいが。

答 条件が揃えばと考えるが、二重投票防止やWi-Fi環境等整備が必要。

問 4月にグランドオープンしたノーラ名栗はどのような施設で、その波及効果は。

答 ①交流拠点、②農林振興拠点、③北欧文化体験拠点、④地域と連携した地域活性化の拠点の4つの運営方針。グランピングテントとガゼボが10棟、管理棟、トイレ、ファイヤーピット、フィンランドサウナ9張、野外ステージとなっている。数多くのメディアが取り上げ、昨年度の観光客は7万3千人で、4月から8月末までの宿泊予約者は約1,600人。ノーラ名栗の新規スタッフ21人のうち、7人が市内在住であり、雇用面でも地域への波及効果がある。

問 ノーラ名栗への投入資金は。

答 施設整備の総額は約2億9,509万円、そのうち、国から約1億1,500万円、県から約1,000万円、地方債約1億円、ムーミン基金から約6,600万円等で、市の一般財源からの持ち出しは、施設整備総額の約1%の308万円である。

問 基本協定を結んだ大林組との連携は。

答 大林組の物づくりのノウハウと連携し、森林・林業再生に取り組む。

要望 選管の目標として①市民への啓蒙、②正しい選挙、③投票率向上に更に取り組んでほしい。



ノーラ名栗グランピング施設 (手前側)



鳥居 誠明 (無所属)

まちづくりについて「ノーラ名栗」「市街地への保育所設置」
公共施設等の安全性について

問 ノーラ名栗は、まん延防止等重点措置の開始後9日目にグランドオープンしたがその対応は。

答 酒類提供の自粛、検温等の対策をした。

問 建設に当たっての事業費や他の経費の内訳は。

答 施設整備、管理運営事業費の総合計は約3億9,000万円。内訳は国費が約1億7,400万円、県費約1,000万円、地方債が約1億円、市費はムーミン基金約6,600万円と一般財源の約3,700万円。

問 5年間の収益と利用客数の見通しは。

答 利用客数は50万人、令和2年度～6年度の5年間の収入見通しは5億2,000万円である。

問 各施設のプライバシー保護や治安の維持は。

答 昼間はスタッフ数名が常駐。グランピングエリアには木の柵。夜間は総合受付にスタッフ常駐。

問 指定管理者から市に対し納付金の見通しは。

答 令和4年度～6年度に納付する基本協定がある。

問 商店街との連携はどのようなになっているのか。

答 商店街の地図配布や物販等の協議をしている。

問 久下六道線は平成25年度に予算付けされていたが市長は凍結した。その背景は。

答 管理元は県だが将来を見越して市道認定し、平成23年に現況測量した。飯能郵便局から踏切間は約2,000万円が予算計上され完成した。

問 飯能駅北口、中心市街地に保育所の建設を。

答 現状は公営の保育施設を建設する予定はない。

問 元加治駅南口開設についての進捗は。

答 入間市は飯能市主導で設計をして欲しいとのこと。近々、事務レベルでの協議を行う。

問 飯能中央地区行政センターは山手町用地に移転しては。

答 公共施設等総合管理計画や財源等を踏まえ検討。

問 耐震性のない浅間、第二区、吾野保育所は子どもや職員が不安。指定避難所なので対策を。

答 公共施設等総合管理計画や財源等を踏まえ検討。



ノーラ名栗





滝沢 修（日本共産党）

乗合ワゴン本格運行に向けて
早期の施設整備で大規模放課後
児童クラブ解消

問 飯能市乗合ワゴンの実証運行が3月から始まった。公共交通の不便な場所では、このような交通を早く作ってほしいとの要望が多かった。利用者から「スーパーや市役所へ行くのに家族に頼まなくても良くなった」「もう少し本数を増やしてほしい」などの意見も出ている。実証運行の状況や利用者の意見など、どのように把握しているか。

答 利用実績は5月31日現在で、延べ1,105人、1便当たり4人程度の利用。買物や通院目的で東飯能駅周辺への利用が多く見受けられ、市役所や行政センターへの移動など様々な利用がある。また、回数券などの要望もある。

問 来年1月を目途に本格運行に移行するとのことだが、多くの方に利用していただきたい。まだ乗合ワゴンの運行を知らない方や停留所の場所が分からない方もいる。より周知を図ると共に地域の意見や要望を取り入れることが必要であるが、今後の取り組みは。

答 周知が行き届かない状況もあり、今年度一人暮らしの高齢者にチラシの戸別配布も行った。本格運行に向け、実証運行によって得られたデータやアンケート結果の分析を行っていく。

問 放課後児童クラブでは、コロナ禍の中で公民館の学習室等を利用するなど、密を避ける対応を図りながらの保育が行われている。入所児童が増加している加治東の放課後児童クラブは、コロナの影響と施設の問題から4年生以上の受け入れができない状況となっている。施設の増設など整備が必要であるが。

答 放課後児童クラブへの入所を希望する児童はまだまだ増加していくと考える。加治東を含め市内の放課後児童クラブの状況を注視し、大規模となっている児童クラブの解消に向け取り組んでいく。



坂井 悦子（日本維新の会）

行財政改革視点での公用車の更なる活用について

問 年間執務時間における稼働率を踏まえ削減等の維持管理が必要では。

答 共用車は年間執務日数の8割超、年間執務時間の半分以上稼働。適正な管理・運用である。

問 適正台数は具体的に設定すべきでは。

答 総台数175台。稼働率は高く、広い行政区域に公用車は必須。災害にも備え、必要最小数。

問 廃車状況は10万キロに満たないものが多い。キロ数が少ないが、資産活用しきれているか。

答 入替の判断は、経年の他、車両の状態、故障頻度等を考慮し適正に行っている。

問 所属部署単位で分けず共用車を増やせば、稼働率も走行距離も適正になるのでは。

答 行政区域が広く、各施設が市域全体に点在。各施設での効率的な業務、ライフラインの適正管理に各部署の公用車管理は必要不可欠。

問 公用車の管理には詳細なデータが必須でデジタル化は急務。官民包括連携協定を用い、記録や予約を一元管理できるようにしては。

答 システム運用などコストも含め調査研究する。

問 稼働率が高くない、走行キロ数が少ない等の車両は、民間のカーシェアを活用しては。コストや管理の手間を含めメリットがあるのでは。

答 メリットやデメリット、効果など検証が必要。

問 執務時間外や休日など遊休資産となる時間帯にカーシェアで一般の方が利用できるサービスを官民連携事業で進める検討はいかがか。

答 地理的条件、公用車の状態等から研究が必要。

問 公用車の安価な企業広告導入はいかがか。

答 埼玉県条例により官公署や公民館など禁止区域での広告掲出は通行不可と考えられる。

問 県議会でも議論されており、自主財源確保は重要。ドライブレコーダーを導入し、道路管理や見守り等の兼務で経費削減を進めては。

答 車両入替えて順次導入。効果の有益性は認識。



金子 敏江（日本共産党）

エッセンシャルワーカーにワクチン優先接種を
学校給食費無償化へ取り組みを

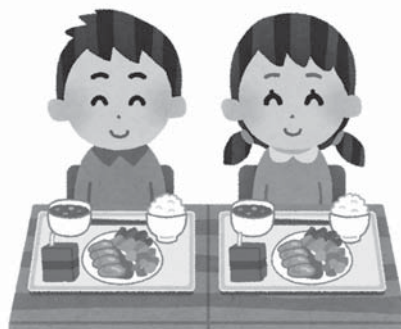


問 ワクチン接種は、市町村の責任で実施することとされ全庁を挙げて取り組んでいるところだが、人との接触が不可欠で、感染した場合の影響が大きい介護施設職員・訪問系の職員、保育士、幼稚園教諭、教職員、学童保育指導員などのエッセンシャルワーカーに対して、市の判断で優先接種が必要と考えるがいかがが。

答 65才以上の高齢者を対象とした優先接種の実施にあたって、クラスター防止の観点から希望する施設入所者へのワクチン接種を4月30日から実施し、施設従事者も同様に対応している。また、6月10日に埼玉県が発表した今後の接種方針では、暮らしを守る上で必要不可欠な仕事に従事するエッセンシャルワーカーも、優先接種の対象に加える方針が示されたので、市としても65才以上の高齢者へのワクチン接種完了後に、接種開始できるよう実施方法などを検討している。また、キャンセル発生時の対応も考えている。

問 子育て世帯の経済的負担軽減の観点から「小中学校及び保育所給食費の無料化を求める署名」の第一次1,190名分の署名を6月2日に提出した。県内では完全無償化が4自治体、一部補助が15自治体、コロナ交付金を使っの期限付補助が26自治体に達している。市としてもできるところから実施してほしいがどうか。

答 自校での給食調理場が9カ所、共同調理場が5カ所の計14カ所で地元食材の使用やアレルギー食への対応などのきめ細かな対応をとっているが、財政的な負担も多くなっている現状にある。一部自治体で無償化や一部補助を実施していることは承知している。そこで、公費負担と子育て支援のあり方について、総合的な検証が必要な時期にきているとして、市長から総合的な検証・議論を進めるよう指示があった。全庁的な検討組織の設置を開始する。



市民から 市議会へ提出

陳情

○の中の数字は陳情番号

① 安心安全の医療介護の実現と国民のいのちと健康を守るため国へ意見書提出を求めることに関する陳情

提出者

埼玉県医療介護労働組合連合会

執行委員長 宮本 まき子

② 飯能市は国に対し、2030年エネルギー基本計画の改定に際して脱炭素化、再生可能エネルギー電力の大幅な拡大を盛り込むよう、意見書を提出することに関する陳情

提出者

飯能市民ネットワーク準備会
代表 長谷川 しのぶ

傍聴者の皆様へ

傍聴規則が改正されました

★改正のポイント★



① 携帯電話やスマホ・パソコン等は電源オフに

携帯電話・スマートフォンその他音の発生する機器及びパソコン・タブレット等の情報通信機器は電源を切ってください。傍聴席では使用できません。

② 休憩中もお静かに

傍聴席では、会議中だけでなく、会議の開会前、休憩中又は閉会后においても静かにし、規則を守って、係員の指示に従ってください。



市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>



じゃがいも収穫（東吾野地区）

審議の日程

5月臨時会

- 18日 開会、議長・副議長選挙、常任委員・議会運営委員選任、埼玉県都市競艇組合議会議員選挙、広域飯能斎場組合議会議員選挙、埼玉西部消防組合議会議員選挙
市長提出議案の上程・質疑・討論・採決
市長提出その他議案の上程・提案理由説明・採決、閉会

6月定例会

- 4日 開会
市長提出議案の上程
9日 議案質疑、議案の委員会付託
10日 常任委員会（総務教育・経済建設）
11日 常任委員会（生活福祉）
15日 一般質問
16日 一般質問
17日 一般質問
22日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

4月

- 6日 広報委員会
19日 埼玉県都市財政研究会定期総会
27日 関東市議会議長会定期総会（書面会議）
28日 政務活動費審査会

5月

- 6日 新議員研修
7日 新議員研修
11日 全員協議会
18日 第2回臨時会
20日 埼玉県市議会議長会第二区議長会定期総会
21日 代表者会議
25日 全員協議会
26日 全国市議会議長会定期総会（書面会議）
27日 広域飯能斎場組合議会臨時会

6月

- 1日 議会運営委員会
4日 第3回定例会（6月22日まで）
広報委員会

7月

- 7日 広報委員会

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索

クリック

☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。

☆ライブ中継をしています

市役所本庁舎1階ロビーにおいて一般質問をライブ中継しています。

次回の9月定例会は

9月3日開会予定です。

会期日程等は8月31日頃内定します。

* 編集を終えて *

今号は、5月の臨時会と6月定例会の報告となっています。

新型コロナウイルス対策としての補正予算が審議・可決されるとともに、着実に「ワクチン接種」も進んでいます。元の生活に戻れるまで、感染防止に努めましょう。

また、57年ぶりに日本で開催のオリンピック・パラリンピックを契機にスポーツを通じて平和な世界が広がることを願っています。

さて、令和3年4月に市議会議員選挙があり、広報委員の顔ぶれも新しくなりました。委員一同「広報」にとどまらず「広聴」にも力を入れ、開かれた市議会を目指してまいります。

（内田）



広報委員（◎委員長 ○副委員長）

◎内田 健次 ○武田 一宏 長谷川 順子
バタソン ひとみ 栗原 義幸 滝沢 修

戸田競艇場開催日（埼玉県都市競艇組合主催分）
7/30～8/3、8/20～8/23、9/17～9/20

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711
（収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。）

市議会だより

9月定例会

- 令和3年度一般会計補正予算案を可決
- 令和2年度一般会計・特別会計・公営企業会計の決算を認定

目次

議案の審議	②
委員会の審査	③
令和2年度決算の概要及び審査	④・⑤
議決結果・人事案件	⑥
市政に対する一般質問...⑦～⑭	
意見書等	⑮
市議会案内板	⑯



議案の審議

9月定例会は、9月3日から9月28日までの26日間開かれ、市長提出議案19件、決算認定案件11件、議員提出議案2件、その他1件について審議等を行い、すべて議決いたしました。

○の中の数字は議案番号（順不同）

9月定例会

市長提出議案

⑤④ 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度飯能市一般会計補正予算（第5号））

歳入歳出予算に、それぞれ3898万2千円を追加し、総額をそれぞれ305億7651万3千円とするもの。

問 専決処分となった経緯は。

答 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金に係る国の補助交付要綱が6月30日に発出され、速やかな対応を図るため同日付けで専決処分し、7月1日から申請を開始した。

⑤② 飯能市個人情報保護条例の一部を改正する条例

個人情報保護の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部

が改正され、及び独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律が廃止されたことにより、各法の規定を引用する条項を整理するため提案するもの。

問 法律改正の背景は。

答 個人情報保護については、対象が国の行政機関、独立行政法人等、民間事業者の3つの法律に規定されていたが、災害時の個人情報の取扱い等に関し共通の規定に基づく運用が求められるため、1つにまとめることとなった。

▼討論▲

反対の立場

法律を一元化することで先進的な規制をした自治体独自の基準が引下げられ、今後、自治体の個人情報外部提供される心配もあること等から、反対する。

賛成の立場

法改正に対応した条例改正を行わないと、引用している文言が法律と整合しない状態を是認することになるため条例改正は必要不可欠であり、賛成する。

⑤⑤ 令和3年度飯能市一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出予算に、それぞれ7億2030万1千円を追加し、総額をそれぞれ312億9681万4千円とするため提案するもの。

問 公有財産管理運用事業の内容は。

答 旧東吾野小学校について、令和元年台風第19号の影響による土砂の撤去や雨漏り等の修繕工事費を施設の借受け予定の学校法人早稲田学園に負担金として支出するもの。



旧東吾野小学校

問 レスパイトケア事業補助金の増額理由は。

答 在宅で介助する家族のた

めのデイサービスを実施する障害福祉事業所が、今年度大河原地区に初めて開設され、利用の伸びが見込めるため。

問 岩沢地区整備事業の増額理由は。

答 国庫支出金の内示額が当初見込みを上回るものであり、本市の道路整備への取組が評価されたと考えている。

問 長期借入金償還金の利率見直しについて。

答 平成22年度に借入れた臨時財政対策債について、借入れ条件により利率見直しを行い、今後10年間の利子負担が約7270万円の軽減となる。

⑥③ 財産の減額貸付について

旧東吾野小学校の土地及び建物学校法人早稲田学園に減額して貸し付けるため提案するもの。

問 賃貸料の算定根拠は。

答 早稲田学園は地域貢献として校舎や校庭を住民に開放するため、電気料等を試算し、その相当額を基本額から控除する必要があると判断した。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的に詳しく審査するため、総務教育、生活福祉、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。
9月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号（順不同）

総務教育委員会

委員長 梶田博之
副委員長 武田一宏
委員 長谷川順子 中元太
野口和彦 新井巧
野田直人

⑤① 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度飯能市一般会計補正予算（第5号））

● 国庫支出金の生活困窮者自立相談支援事業費等負担金は、114世帯を見込んだこと。

⑤② 飯能市個人情報保護条例の一部を改正する条例

● 国の行政機関、独立行政法人、民間事業者の3つの法律が一本化されても個人情報保護の基本的な考え方は変わらず、基本法として運用されること。

● 今後、国の説明やガイドラインが示されていく中で精査するが、本市の個人情報保護条例の規定が緩むことはないと考えていること。

（反対討論あり）

⑤⑤ 令和3年度飯能市一般会計補正予算（第6号）

● 普通交付税と臨時財政対策債について、当初予算で見込んだ額とほぼ同額であったこと。

● 旧東吾野小学校の工事について、学校法人早稲田学園は市内事業者からの選定を考えていること。

⑥③ 財産の減額貸付について

● 学校運営の視点から、開校に関する県への手続きは20年間の運営で進めていること。

● 将来的な施設の方向性は未定であり、貸付期間終了に伴う協議内容と考えていること。

生活福祉委員会

委員長 大津力
副委員長 内田健次
委員 熊田尚子 関田直子
金子敏江 加藤由貴夫

⑤⑤ 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度飯能市一般会計補正予算（第5号））

● 生活困窮者自立支援金の対象世帯に案内等を送付し、8月10日時点で相談や連絡のない世帯には再勧奨し、丁寧な対応をしていること。

● 住宅確保給付金の支給決定がないことについて、新型コロナウイルスに対応した個人に対する支援策が整い、選択肢が増えたことから、他の支援策を利用していると分析していること。

⑤⑤ 令和3年度飯能市一般会計補正予算（第6号）

● レスパイトケア事業補助金の対象となる事業は、短期入所と日中一時支援であり、市内に開設された事業所は日中一時支援事業を行うこと。

● 放課後児童対策事業のうちICT化推進事業について、15クラブに対し上限50万円を計上したこと。

● 保健管理事業について、子どもの予防接種や検診状況を管理している健康管理システムで新型コロナウイルス感染症の接種も管理ができるよう改修すること。

経済建設委員会

委員長 栗原義幸
副委員長 パタソンひとみ
委員 坂井悦子 滝沢修
鳥居誠明 加浦弘貴

⑤⑤ 令和3年度飯能市一般会計補正予算（第6号）

● 岩沢地区整備事業について、事業の見直しにより区画整理事業から除かれたエリアを地区整備計画に基づいて4m未満の道路を整備しようとするもの。

● 移住支援金について、国が就業等の要件を拡充したことから相談件数が増加し、増額補正となったこと。

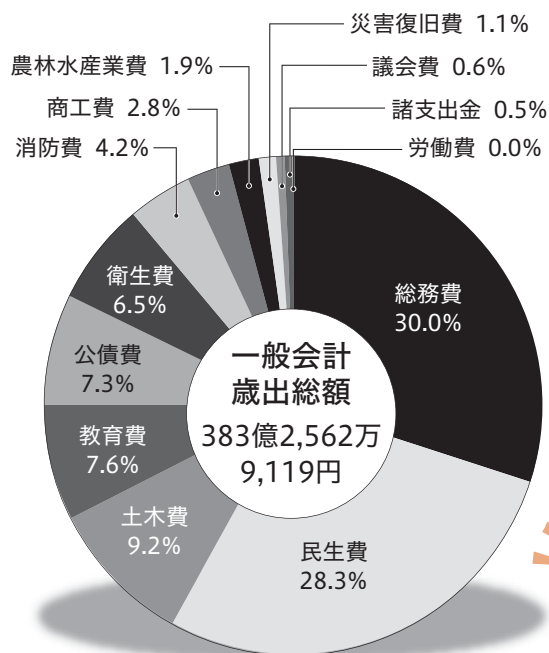
⑥④ 令和2年度飯能市水道事業未処分利益剰余金の処分について

● 水道事業の純利益が約2600万円減少した理由は、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、基本料金を2か月分免除したことによる。基本料金の免除を実施しなかった場合には、若干の増収であったこと。

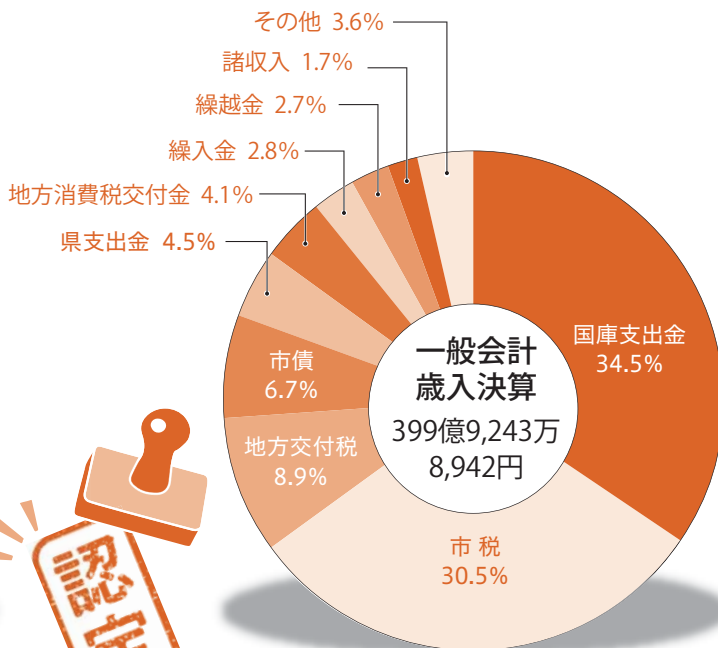
令和2年度 決算審査

今定例会に市長から提出された令和2年度一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算について、歳入・歳出が正しく行われたか慎重に審査し、本会議、委員会でいずれも認定いたしました。

主な内容は次のとおりです。



※割合(%)は端数調整しています。



※割合(%)は端数調整しています。

討 論

▼反対の立場

会計年度任用職員制度では処遇が改善されないこと、ノーラ名栗は公の施設として市民福祉の向上につながるとは言えないこと、GIGAスクールでは健康被害のチェック体制が不十分であること等から、反対する。

▼賛成の立場

会計年度任用職員制度はワークライフバランスの点からも効果があったこと、ノーラ名栗は内閣府が認定した地方創生事業であること、GIGAスクールはコロナ禍で活用領域が拡大し必要不可欠なツールであること等から、賛成する。

特別会計・公営企業会計も全て **認定** しました。

特別会計		歳 入	歳 出
国民健康保険(事業勘定)		83億4,956万8,690円	81億1,632万5,535円
国民健康保険(南高麗診療所勘定)		7,406万5,167円	6,175万5,155円
国民健康保険(名栗診療所勘定)		6,484万8,446円	6,059万3,799円
笠縫土地区画整理		6億2,983万2,003円	6億1,236万5,875円
双柳南部土地区画整理		1億8,395万5,386円	1億7,129万3,555円
岩沢北部土地区画整理		3億1,714万210円	2億9,136万1,524円
岩沢南部土地区画整理		9億5,219万3,639円	9億1,484万7,748円
介護保険		66億6,645万4,436円	63億542万6,970円
後期高齢者医療		10億3,296万6,053円	10億3,149万2,310円
訪問看護ステーション		5,584万2,080円	5,186万3,342円
公営企業会計		収 入	支 出
水道事業	収益的	18億4,756万9,149円	16億9,354万4,796円
	資本的	3億115万5,399円	8億2,175万5,776円
下水道事業	収益的	20億2,637万7,274円	17億9,919万9,655円
	資本的	10億3,990万8,695円	15億7,749万8,549円

一般会計

▲歳入▲

市税

問 コロナ禍による市税収入の影響は。

答 個人市民税、固定資産税、都市計画税は前年から増加したが、コロナ禍による企業業績の悪化により法人市民税が大幅な減収となった。

▼歳出▼

総務費

問 会計年度任用職員制度の効果は。

答 採用方法や勤務条件等が法文上不明確であったが、本制度の導入により制度的な基盤が統一的に定められたこと。

問 公共交通対策事業の進捗状況は。

答 精明・加治地区において、地域の方と事業者の協働により実現した乗合ワゴンの実証運行の開始と南高麗地区において、飯能リハビリ館の

送迎車両を活用した住民移送事業の実証運行を開始した。



乗合ワゴン

民生費

問 地域福祉推進組織の設立状況は。

答 原市場・名栗・加治東・吾野・東吾野・南高麗・美杉台の7地区で設立され、地域福祉の活動に取り組んでいるが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度に設立された組織はなかった。

問 子ども家庭総合支援拠点の運用状況は。

答 庁内関係機関や学校、児童相談所と緊密に連携し、児童虐待を未然に防ぐとともに

早期発見、早期対応に取り組む地域支援を実践している。

農林水産業費

問 ノーラ名栗の事業効果は。

答 入れ込み客数が前年度比で約63%増加し周辺観光施設にも好影響が出ていること、地域雇用が進んでいること、施設で使用する物資を市内業者から調達し地域経済への波及効果も生まれていることが挙げられる。



ノーラ名栗

教育費

問 GIGAスクール構想の状況は。

答 全ての小中学校でタブレットを活用し、主体的で対話的な深い学びに役立てているとともに学校への支援として研修会や授業サポートなど丁寧に行っている。

特別会計

国民健康保険

問 決算の特徴は。

答 本市の保険給付費は前年度と比較して約3億円の減であり、要因は被保険者の減少と新型コロナウイルスによる医療機関への受診控えなどである。

▼討論▲

反対の立場

一般会計からの法定外繰入金が減っている中で賦課限度額の引き上げをする必要はなかったこと、18歳までの子どもの均等割を廃止すべきこと等から、反対する。

賛成の立場

県の運営方針で補てん目的の法定外一般会計繰入金金は削減するとされていること、賦課限度額の引き上げにより低所得層の負担が軽減されること等から、賛成する。

公営企業会計

水道事業

問 県水が日量3500tとなり、本郷浄水場と小岩井浄水場の配水量はどうなったか。

答 水運用上に生じる差異は若干あるが、大きな増減はない。

▼討論▲

反対の立場

水道料金基本料の2か月減免等は評価できるが、県水受水量を日量1000tにすること、入間川の水利権を維持すべきとの立場から、反対する。

賛成の立場

安全安心な水の安定供給のために県水は必要であること、水利権は水需要の動向を踏まえて協議すべきことから、賛成する。



小岩井浄水場

令和3年9月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案・認定

※表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案 番号	議席番号・議員名 議 案 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決 結果
		熊 田 尚 子	長 谷 川 順 子	武 田 一 宏	バ ト ン ひ と み	坂 井 悦 子	栗 原 義 幸	中 元 太	関 田 直 子	大 津 力	野 口 和 彦	内 田 健 次	梶 田 博 之	滝 沢 修	新 井 巧	金 子 敏 江	加 藤 由 貴 夫	鳥 居 誠 明	加 瀬 弘 貴	野 田 直 人	
52	飯能市個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	原案可決
認定1	令和2年度飯能市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	×	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	認 定
認定2	令和2年度飯能市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	認 定
認定8	令和2年度飯能市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	×	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	認 定
認定9	令和2年度飯能市訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定10	令和2年度飯能市水道事業決算の認定について	○	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	認 定

※中元太議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案・認定等

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略

議案番号	議案名	議決結果
50	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度飯能市一般会計補正予算（第5号））	承認
51	飯能市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
53	飯能市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
54	飯能都市計画飯能茜台地区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
55	令和3年度飯能市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
56	令和3年度飯能市笠縫土地地区画整理特別会計補正予算（第1号）	原案可決
57	令和3年度飯能市双柳南部土地地区画整理特別会計補正予算（第1号）	原案可決
58	令和3年度飯能市岩沢北部土地地区画整理特別会計補正予算（第1号）	原案可決
59	令和3年度飯能市岩沢南部土地地区画整理特別会計補正予算（第1号）	原案可決
60	令和3年度飯能市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
61	埼玉県都市競艇組合規約の変更について	原案可決
62	市道路線の廃止について（大字下畑地内）	原案可決
63	財産の減額貸付について	原案可決
64	令和2年度飯能市水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決
65	令和2年度飯能市下水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決
認定3	令和2年度飯能市笠縫土地地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定4	令和2年度飯能市双柳南部土地地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定5	令和2年度飯能市岩沢北部土地地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定6	令和2年度飯能市岩沢南部土地地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定7	令和2年度飯能市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定11	令和2年度飯能市下水道事業決算の認定について	認定
66	令和3年度飯能市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
67	教育委員会教育長の任命について（中村 力 氏）	同意
68	教育委員会委員の任命について（大澤 修 氏）	同意
議提2	飯能市議会基本条例の一部を改正する条例	原案可決
議提3	出産育児一時金の増額を求める意見書	原案可決
	議員派遣の件	派遣



大澤 修 氏

⑥⑧ 教育委員会委員の任命について

教育委員会委員横手伸行氏が任期満了となるので、新たに大澤修氏を選任することに、全員同意しました。



中村 力 氏

⑥⑦ 教育委員会教育長の任命について

新たに教育委員会教育長として中村力氏を任命することに、全員同意しました。

人事案件



鳥居 誠明（無所属）

新井市長の目指す市政とは
中心市街地、道路問題
地域の課題、危機管理

- 問** 新井市長が目指す対話重視の市政とは。
- 答** 市長が自ら出向き、報告し市民の意見を聞く。
- 問** 中心市街地に森林文化都市らしさが感じられるまちづくりをするには再開発が必要では。
- 答** 再開発は市民が中心となり、行政は支援する。
- 問** 中央地区行政センターは山手用地へ移転を。
- 答** 移転や跡地利用は早い段階での検討が必要。
- 問** 飯能駅北口から東飯能駅の間に保育所を。
- 答** 一時預かり的な施設も含め今後検討する。
- 問** 久下六道線は狭く危険。将来を考え検討を。
- 答** 8月に国と防災や無電柱化等を協議した。
- 問** 八高線阿須ガードと東側の交差点の進捗は。
- 答** ガードは令和5年度から着手したいとのこと。阿須小久保の交差点はガード工事後着手予定。
- 問** 飯能下名栗線はバスも通り狭く危険。改良を。
- 答** 曲竹地区の整備を優先し、他の箇所はその後。
- 問** セットバックの未舗装部は所有権残し舗装を。
- 答** 他市の条例も含め検討する。
- 問** 元加治駅南口開設はどのように進めるのか。
- 答** 入間市の計画に入れるよう入間市長に要望した。旧いるま野農協前の踏切廃止と一体で検討。
- 問** 精明地区の土地規制が厳しい。緩和策は。
- 答** 農地法、農業振興の法律、都市計画法の調整区域規制があるが活性化に向け努力する。
- 問** 南小畦川改修は残り約500m。5年で完了か。
- 答** 県では概ね10年程度で完成を予定している。
- 問** 中心市街地に指定避難所がないが検討状況は。
- 答** 旅館組合、大鵬薬品工業と災害時の協定締結。
- 問** 指定避難所にソーラーパネル、蓄電池設置を。
- 答** 課題もある。電気自動車所有企業と協定締結。
- 問** 阿須山中検証委員会の構成、時期、検証方法は。
- 答** 市長と職員数名で防災、環境等をできるだけ早く検証する。
- 問** 専門的知見が必要な場合もあると思うが。
- 答** 市で契約している技術顧問制度等を活用する。



久下六道線



市政に対する



一般質問とは、市の行政全般について市長（執行部）に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。

質問する議員は、質問内容を事前に通告します。

原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は15人の議員が登壇しました。

一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されているQRコードから、該当議員の動画をご覧いただけます。

（ ）の中は会派名です。



楢田 博之（無所属）

元加治駅南口、コロナ対策、
柏木山の環境、ゴミ集積所、
高齢者の見守りについて

問 元加治駅南口の進捗は。

答 積極的に入間市や西武鉄道、駿大、国や県との連携を図り実現したい。

問 コロナ対策により、新規感染者は少なくなっても、患者が減ったわけではないということを皆に周知してほしいが。

答 新規陽性者は幾分少なくなってきたが、まだまだ患者は多い。今後もワクチン接種を進めながら密や不要不急の外出を控えていただく。

問 持続可能な社会を作るために飯能市としてはどのように進めるか。

答 まず、自治体が担うべき役割を改めて認識し取り組む。第一歩として総合振興計画の後期基本計画の策定本部で議論し、明確にしていきたい。

問 柏木山周辺の環境については、最近特に良くない。立木へのペイントや、勝手に地名をつけたリ、花壇を作ったりしているが、市はこのままで良いのか。

答 市有地については、一部は認めてきたが、市有林に相応しくないものもある。地域関係者の意見を伺いながら対策を講じたい。

問 市内のゴミ集積所については不適切なところがある。県道上に置いて通学路を塞いだりして歩行者が危険に晒されている。また、集積所が設置できないところは無理に玄関先などに設置するなど不適切なところが多い。改善すべきでは。

答 昔は道路上に指導していたが、今は私有地に設置するようお願いしている。地元自治会などと相談しながら進めていきたい。

問 民児協と社協で高齢者の静かな見守りを行なっているが、川寺ではそこに自治会も協力して新しい見守りの形「川寺モデル」がこの春からスタートした。全市域に広げたいが。

答 まずは川寺モデルの構築を成功させて、他の地域の手本になってほしい。



柏木山の頂上付近



長谷川 順子（無所属）

阿須山中検証委員会のあり方
市内中学校に通級を新設
子どものワクチン接種を慎重に

問 検証委員会のメンバーは市職員だけではなく、市民など第三者の参加は必須。参考人として前市長、前副市長、事業者、協力会社及び関係職員にも事実確認は必要不可欠。一般市民の傍聴も可能なのか、検証期間は。

答 職員による組織を早い時期に設置し、検証における公平性、透明性はしっかりと守る。傍聴は確認・検証の場となることから考えていない。

問 伐採木は市民の財産なのでは。

答 市民共有の財産であると認識している。

問 サッカー場の申請は都市計画法逃れでは。

答 改めて検証し、報告機会を設ける。

問 市内中学校に通級指導教室を新設する予定はあるのか。

答 生きづらさに悩む中学校の生徒に、通級による指導は、有効な取り組みの一つであると考えられる。今後、生徒や保護者の状況やニーズをしっかりと把握し、担当教員の育成も含め、中学校での通級指導教室設置について検討する。

問 いのちを守るためのアプリをタブレット端末に導入する予定はあるのか。

答 SNS利用の安全性、有効性、個人情報の保護、相談員の確保、教員の働き方など、様々な課題もあることから、本市教育委員会としては、各学校の委員で構成される“アプリ”検討委員会等で議論しながら、導入について検討する。

問 子どもたちへのコロナワクチン接種は任意であるとの認識でよいのか。

答 接種を受ける方の同意がある場合に限り、ワクチン接種が行われるものである。

問 山間地域でのごみ収集について、妊婦、高齢者、身障者の方への戸別収集の検討はあるのか。

答 実施については、人員確保や収集体制の大幅な変更等多くの課題がある。福祉部門と連携し、本市の実情に合った実施方法を検討する。



工事車両の出入口となっている
阿須山中アミューズメントロード





内田 健次（飯能みらい）

ノーラ名栗の検証について
公約チラシ“原市場特別版”
森林・林業施策について

問 ノーラ名栗は地方創生プログラムによる都市回廊空間整備事業の一環として名栗地区に北欧体験施設として開設した。内閣府の地方創生事業に応募し採択され交付金や補助金を国や県から獲得した。この財政支援を得て開設され順調に事業が進められているのになぜ検証の必要性があるのか。

答 施設の目的や事業を一部の市民に理解されていない。特に宿泊事業への参入に疑問や心配の声があり答えることが市政運営に必要。

問 一番の懸念は検証により、対外的には交付金の返還や国・県の関係者の努力に水を差し、市の評価が下がらないか。また内部的には検証委員会を立ち上げることで庁内を二分するのではないか。

答 国・県の支援については、確認作業により本事業が止まることは考えていない。あくまで事業効果の確認と市の取り組みを説明する。

問 公約チラシの赤工中自治会内の道路拡幅は、右岸道路の整備と捉えてよいのか。

答 入間川右岸道路として重要な路線である小岩井元小岩井線の更なる整備を進める。災害に強いまちづくり実現のため、防災面で進めなければならない。

問 倉掛峠の改修については。

答 用地買収が完了している原市場方面から倉掛峠への進入口付近について整備を進めるよう指示した。

問 森林・林業再生に向けて大林組との連携内容は。

答 連携協力事項は、①循環型森林利用②西川材の需要拡大③木材コンビナート④多面的活用⑤森林共生都市の構築による地方創生である。

問 木材コンビナートのイメージは。

答 製材用のA材から合板用のB材、チップ材のC材など木材有効活用のため1か所に集積する。



木材工業団地(高知県須崎市)



栗原 義幸（公明党）

子ども医療費無償化について
新型コロナ自宅療養者支援
防災ラジオの配布拡充について

問 市長は、本市の人口減少や若者世代、子育て世代の定住促進が喫緊の課題として、子ども医療費の18歳までの無償化を公約に掲げている。改めて、市長の考えを伺う。

答 魅力あるまちをつくるための施策として、子ども医療費の18歳までの無償化を公約として掲げ、市民へ訴えてきた。この施策は、子どもの健やかな成長と豊かな生活へつながるものと信じており、子育てのしやすいまちとして、子育て世代の定住促進に発展するものと考えている。この対象年齢の拡大は、令和4年度から実施するよう、担当部署に指示をしている。

問 飯能市では、自宅療養者への支援として、配食サービスとパルスオキシメーターの無償貸与、そして保健所と医師からの依頼のもと、酸素濃縮器の提供を開始した。一方、近隣の狭山市では、同様の取り組みの他、専用の送迎車両による帰宅支援を行っている。これは、陽性の判定を受け、保健所に自宅療養の指示を受けた方が帰宅するには公共交通機関が使えず、家族の送迎が難しい場合に必要となる支援である。狭山市同様の取り組みを本市でも検討できないか。

答 狭山市では、陰圧車による帰宅支援を行っているが、その専用車両については、地元企業からの特段の協力と経緯によるものであることから、本市では同様の支援についての予定はない。

問 防災行政無線の放送は、市民から依然として「聞こえない」、「聞こえにくい」等の声が多い。そこで、防災ラジオの戸別配布（貸与等）の拡充を視野に、市民からその必要性についてアンケート調査を提案するが検討できないか。

答 提案のアンケート調査については、現時点で考えてはいないが、防災ラジオの運用も含めて、情報の確実な伝達は非常に重要な課題であることから、今後も様々な手段を検討、研究していく。



防災ラジオ





坂井 悦子（日本維新の会）

防災の視点からの新井市政におけるまちづくり
笠縫土地区画整理事業

問 木材価格が高騰し間伐材等の活用が注目される。間伐は、産業振興に加え、防災の面からも一層の事業強化が必要では。

答 防災・減災にも間伐の有効性は極めて高い。「西川地域スマート林業協議会」において循環型林業経営への取組が始められた。木材高騰の動向に注視し、森林資源の循環利用につなげる。

問 指定避難所である公共施設の耐震化が急がれるが、他施設の老朽化等もあり財源は厳しい。官民共用でのコスト削減による施設更新、PPPなど官民連携による手法についての考えは。

答 他市の事例を調査、研究する。

問 令和3年度当初予算では、市税収入が4億減少、市税の歳入構成比は39.5%、自主財源比率も49.8%となり、3年連続の減少。財政の余力はなく、地方債の借入と基金の取り崩しでしか歳入不足を補っていない。歳入の確保、財政の健全化、財政の立て直し、行政改革等、財政課題への市長の方針は。

答 厳しい財政状況であり、行政改革と財政健全化に取り組むことは、各施策実現の大前提。財政の健全性、行政経営の視点を念頭に取り組む。

問 冗長なインフラを防ぐ集約型都市構造、コンパクトシティの考え方は、山間地域の現状から持続可能性として検討すべき方向性ではないか。防災やライフライン確保等をどう強化するか。

答 国が推奨する「立地適正化計画」の策定を第5次総合振興計画後期計画の期間で検討する。

問 笠縫土地区画整理事業は、主要幹線の整備に目途がついたが、生活道路が未整備のエリアがあり、工事進捗に格差がある。見通しは。

答 整備が行き届いていないエリアがあることは十分認識をしている。令和4年度に完成予定の雨水幹線建設工事により、雨水排水の流末が確保できる。今後は計画的に整備を実施。

笠縫土地区画整理事業地内
未整備の生活道路

熊田 尚子（公明党）

コロナ禍の教育相談体制の強化
通学路安全点検・対策について
危機管理体制について

問 コロナ禍が長期化し、教育センターでは、児童・生徒や保護者の不安や悩みの相談が昨年度1学期と比べ今年度は約1.8倍となっている。相談体制のさらなる強化、教育センターの相談員の増員は。

答 相談体制の強化はコロナ禍にあって喫緊の課題と認識。来年度の予算編成に当たり、まず相談員の増員を要求している。

問 千葉県八街市の事故を受けて新たに通知された「通学路における合同点検」の実施状況は。

答 今年度実施済みの調査に加え、今回の観点でリストアップされたものを基に対策案を検討、作成し庁内関係課や警察等に伝え、実施を要望していく。

問 公立保育所における防災備蓄の状況は。量や内容の検証と、計画的に十分な備えを。

答 現在1人1食分程度の備えであるが、今後段階的に備蓄品の種類や数を増やし、備えていく。

問 個別避難計画の取り組みにおいて、各関係機関、地域包括支援センター、要介護者の専門的な知識を持つケアマネジャーとの連携は。

答 どのような連携が可能であるか、庁内関係部署と検討していく。

問 本市には長期にわたる災害時に段ボールベッド、段ボールシートの協定があるが、一時避難時や到着に時間がかかることを想定し、段ボールベッドを防災備蓄として整備できないか。

答 要介護者の方などが安心して避難するにあたり有効な防災備蓄として、整備を進められるよう検討する。

問 緊急情報キットの周知・活用状況は。

答 救急活動上大変有効であると考えている。広報はんのうへの掲載や市ホームページで情報を更新し、身近なもので取り組めることを発信していく。



通学路の様子





新井 巧（日本共産党）

運転免許証自主返納者に支援を
中央公民館を山手用地に建て替
えを

問 県内63自治体の中で50自治体、約8割が運転免許証自主返納者に支援策を実施している。飯能市で安心して住み続けるために重要な施策の一つとして、バス代補助やタクシー利用券など検討をしてもらいたい。

答 高齢者の足の確保は重要な課題。近隣自治体でも実施しているところもある。財政的なこともあるので研究していきたい。

問 中央公民館は耐震性がなく、雨漏りなど老朽化も著しい。また、駐車場も利用勝手が悪い。山手用地に中央公民館を移設し、児童や高齢者の複合施設として整備してもらいたい。

答 図書館東側の約6,000㎡の土地の利活用はこの8年間検討されてこなかった。中央公民館は老朽化も激しいことから、移転も含めて、建て替えが相応しいと考えるが、市民との合意形成が不可欠であると考えている。

問 水道未給水地域の対策は重要。給水事業の補助率の見直し、電気代などの維持費の支援、技術的支援などの改善と、妻沢、中藤上郷、虎秀、瀬尾などは、上水道からのポンプアップ方式で対応できないか。

答 給水事業の補助率の見直しなどを検討するとともに関係部署と連携して進めていく。上水道からのポンプアップは水道事業経営に反映し、水道料金に影響することから補助事業を丁寧に進めていきたい。

問 市長は、市内に芸術家が多いことから、作品紹介や展示などを企画したいとの意向を示された。さらに全市的な文化・芸術家のネットワークづくりと芸術家への移住支援などの支援策も必要ではないか。

答 各種団体の意見を伺い、文化・芸術活動が進めやすい環境整備を図りながら、文化・芸術活動を支援していきたい。



駐車場から急な階段を上らなくてはならない中央公民館



大津 力（チームはんのう）

協定について

問 フィンテックグローバル株式会社との協定と、その効果は。

答 協定の目的は、飯能市の地方創生を推進することとしている。協定による一番の成果はメッツァ建設工事が市内建設業者に発注されたこと。約57億円の工事を市内の建設事業者3社によるJVに発注し、約60社の市内企業がメッツァの建設に参画した。

問 メッツァ、ムーミンバレーパークの来園者数、メッツァ開設による経済効果額、雇用の創出状況は。

答 フィンテックグローバル株式会社の決算情報によると来園者数は、令和元年度118万7千人、令和2年度64万2千人。市においてメッツァ開業による効果額を試算したところ、93億円以上の経済波及効果があったと考えている。また、メッツァ建設にあたり西川材が、建物の構造材、内装壁などとして使用された。雇用は、令和3年1月時点で従業員が約350人、このうち約120人が飯能市民とのこと。

問 メッツァによる飯能市の知名度の向上に関する具体的な事例、それによる効果は。

答 開業からの約8か月間で、TV番組の放送として、日本テレビで55回、TBSで24回、NHK、テレビ朝日、フジテレビ、テレビ東京を含めた主要放送局で合計115回取り上げられた。ふるさと納税でムーミン返礼品を希望した寄付額の合計は、平成28年度から令和2年度までの5年間で約5億9,300万円であった。

問 今後についての新井市長の考えは。

答 メッツァとの連携により効果が最大限発揮されるということであれば、これからも引き続き、メッツァ、ムーミン物語との協力を積極的に進めていきたい。



メッツァビレッジ





武田 一宏（ネクストはんのう）

コロナ禍における学校教育
都市開発について
地域の活性化について

- 問** 2学期始業日が通常通りであった理由は。
- 答** 校内の集団感染が発生していない点、徹底した感染症予防、家庭への負担、放課後児童クラブの密を避ける等の理由で通常登校に至った。
- 問** 保護者への感染症予防の啓発は。
- 答** 緊急事態宣言中はオンライン授業も出席扱いとし少しでも体調が悪い児童生徒を休ませて頂くようお願いしている。
- 問** ワクチン接種の有無による授業形態の変化は。
- 答** 接種者と非接種者で変えることはない。
- 問** 緊急事態宣言解除後はどう変化があるか。
- 答** オンライン授業の出席扱いは停止とする。
- 問** コロナありきの学習カリキュラム作成など抜本的な改革が必要では。
- 答** 必要があると認識している。コロナ禍でも地域との繋がりを深めることができる活動を研究し、新しい学校づくりを推進していく。
- 問** 岩沢陸橋開通前に事業内容の説明会を開催したほうが良いのでは。
- 答** 開通前に行くことは勿論、早い時期に実施する。
- 問** 久下六道線整備におけるビジョンはあるか。
- 答** 単なる道路拡幅、歩道整備ではなく、中心市街地活性化に繋げ、まちの賑わいを誘発するための整備にしたい。
- 問** 久下六道線と同時に郵便局前の安全措置は。
- 答** 今回の整備区間と同様に扱うことはできないが、道路の安全性確保を検討していく。
- 問** 新井市長の目指す中心市街地像は。
- 答** 飯能駅を降りたら森林文化都市が感じられ、本市を訪れる多くの観光客が行き交う賑わいのある中心市街地を目指す。
- 問** 市街地商店の活動状況や活性化の評価は。
- 答** がんばる商店街補助事業等は商店街の収益力の向上、賑わい創出、感染症対策において大変好評であったため、引き続き支援をしていく。



がんばる商店街補助金事業
出典：全国商店街支援センター



滝沢 修（日本共産党）

阿須山中土地利用問題
検証委員会で検証すべきこと
元加治駅南口の早期開設を

- 問** 環境保護が言われる中で、山を崩してまで、この事業を市が進めるのか理解できないとの多くの市民の声がある。市の姿勢が問われるとともに今後の市政運営にも大きな影響がある。事業の判断が、どのような経緯をもって判断されたのか、また、事業者選定においても改めて検証すべきではないか。
- 答** 事業内容、また、事業者選定の他一連の事業内容について検証していきたい。なお公表の時期については適時検討していく。
- 問** 都市計画法でサッカー場が1ヘクタール以上であれば6メートル以上の道路に接しなければならない。サッカー場の管理道路やのり面などを含まず面積を9,768平方メートルとしているのではないか。また、なぜ作業用道路を別工事としているのか検証が必要では。
- 答** 面積の考え方、区域の考え方の検証が必要ではないかとのことだが、当然検証していく。
- 問** 静岡県伊豆山の土砂災害は、倒壊家屋131棟、また、尊い人命が失われる災害となった。気候変動によりこのような豪雨はどこでも発生する可能性がある。また、災害により太陽光パネルの火災もある。災害についての検証は。
- 答** 防災全般について改めて確認する。
- 問** 元加治駅南口の開設について、入間市、西武鉄道との協議を今後どのように進めていくのか。また、開設への見込みはどうか。
- 答** 元加治駅南口の早期開設については、真摯にそして着実に取組んでいく。解決すべき課題は十分認識している。まず入間市との合意を取付け、2者協力のもと西武鉄道と南口開設の実現に向け協議を行い、一日でも早く地域の大きな期待に応えるよう積極的に取組んでいく。
- 要望** 区画整理事業が進み、住宅建設も行われている。課題は多いが早期開設を強く望む。



早期開設が待たれる元加治駅南口





金子 敏江（日本共産党）

飯能市に、「狭山保健所の分室」設置で逼迫する業務の負担軽減と公衆衛生機能の回復を

問 全国の保健所は1994年以降852か所から469か所に。埼玉県では28か所から13か所に統廃合され、狭山保健所管内には所沢、狭山、飯能と3つの保健所があったが狭山保健所1か所に統合され、埼玉県内の保健所の中でも管内人口78万人と最大規模の人口を抱えている。また、狭山保健所の職員数は、2005年の95名から現在の57名と職員の削減も進んだ。コロナの不安はまだまだ続くので、できるだけ早く狭山保健所の負担軽減と公衆衛生機能を回復させなければならない。飯能保健所の復活・再建を望むが、当面は、もともとあった埼玉県飯能合同庁舎の1階を活用して狭山保健所の分室として設置できないか、新井市長を先頭に県に積極的に要請してほしいがどうか。

答 狭山保健所では依然として新規感染者への対応、自宅療養者への健康観察、入院調整など多岐にわたる業務に不眠不休であたっており多忙を極めていっていると伺っている。本市としては保健師を8月に1名、9月に2名派遣して支援している。分室設置の考えだが、保健所の負担軽減や効率化をはかる観点から有効な方法であると考えている。また、昨年5月、埼玉県に対し現在の広域化による保健所体制を見直し各地域に分散された保健所機能の強化を行い、感染拡大を抑制し公衆衛生の充実に取り組むことを要望している。狭山保健所と緊密な連携をとり、市民の命と健康を守るために積極的に進めていく。



埼玉県飯能合同庁舎



パタソンひとみ（チームはんのう）

防災・新型コロナウイルス対策
学校給食を生かした食サービス
ユニバーサルデザインの取組み

問 国道299号沿い河川の道路冠水に対する堆積土砂の掘削工事の進捗状況は。

答 東吾野橋付近を中心に掘削工事を年度内完了の見込みで準備を進めている。

問 自宅療養による家庭内感染が増えているが、野戦病院設置や宿泊施設の協力を得て感染者と非感染者を接触させない対応を提案するが。

答 野戦病院は、医療提供体制の維持が困難なため自治体規模では困難な状況。発熱外来は県から指定を受けた医療機関が13か所あり、早期受診、早期診断、早期判定に繋がる環境にある。

問 ワクチン接種に関する情報提供は、偏見や差別が起きないように取り組んでいるか。

答 市HPに厚生労働省HP等をリンクしている。コールセンターに看護師を配置し、相談に丁寧に対応している。アレルギー体質や持病があり接種できない方がいるが、接種は任意であり、差別や偏見があってはならない。差別防止の周知や啓発の対応をより一層務め適切な情報提供に努めていく。

問 新型コロナウイルス感染症収束へのロードマップを市長はどのように考えるか。

答 市民の命と健康を守ることを第一に掲げ、ワクチン追加接種を検討しており、刻々と変わる状況の中、国の情報を速やかに入手し、県や地区医師会などと連携し方向性を示す。

問 高齢者の社会的孤立問題へ地元の子もたちと同じ学校給食を配食し、地域のつながりをもたらしサービスの取組みができるか。

答 衛生管理基準が厳しく基準を満たした配送の仕組みを作る必要がある。どんな学校給食の活用ができるのか研究していく。

問 多様性のあるユニバーサルデザインの取組は。

答 久下六道線バリアフリー化も含め、居心地の良い空間にするため県土整備に要望を出している。



ユニバーサルデザイン7原則





加藤 由貴夫 (みどりの会)

市長所信表明、総合振興計画、都市計画の中の課題について教育関連問題について

問 政策変更や財源の伴う来年度の予算編成等に向けて、どのように進めていくか。

答 大きな政策変更やそれに伴う補正予算をお願いすることは考えていない。行政の継続性も踏まえた上で予算を編成する。

問 全ての政策で困難な課題を先送りし後世に残さないようにすることが必要であると思うが、市長の認識は。

答 その通りであり、私もまったく同じ考えである。

問 国・県の補助メニューの使い方については。

答 市の財政負担を抑えて事業を実現するということはとても重要である。国・県の各機関とも連携し、最も効果的な財政運営に取り組んでいく。

問 飯能市の総合振興計画基本構想に基づく実施計画などに大きな変更はあるか。

答 最大限順守すべきものと認識している。ただし、重要課題は集中して取り組む。

問 原町・前田・中山地内の都市型内水氾濫防止対策についての進捗現状は。

答 抜本対策の貯留施設は浅間に設置した貯留浸透施設の約8倍の大きさの容量が必要となる。埼玉県助言をいただきながら検討している。軽減処置は藤田堀下流の下水道管渠の流下能力を確保するスクリーン設置に向け調整中である。

問 土地区画整理事業見直し後の施工期間を守るため更なる事業加速化が必要だが市長の認識は。

答 事業期間を守るために、責務をしっかりと果たさなければならないと強く心に感じている。

問 吾野小学校の跡地利用について市長の考えは。

答 事業者とまちづくり委員会との協議はもとより吾野地区の合意形成を丁寧に進めてほしい。

問 老朽化したホッケー場の改修についてどのように考えているか。

答 課題等を整理し、また財源確保の研究等も含め、進めていきたい。



ホッケーのまち飯能



野田 直人 (みどりの会)

岩沢共有地と阿須山中について

問 阿須山中とは、場所こそは阿須地区だが、元々、所有者は岩沢地区にお住いの116人が共有しており、そのような意味で岩沢共有地と呼ばれていた。岩沢共有地は、阿須山中、阿須要害沢、岩沢字河原、岩沢字中河原の4か所の土地だったが116人の方が共有していた土地でもあるので、その土地の利活用、運用については様々な利害関係が生じるなど難しい問題があったようだ。その後、飯能市土地開発公社では、総額約42億3千万円で岩沢共有地のすべてを先行取得し、飯能市では随時買戻しを進め、阿須山中を除く3か所は、市民体育館、市民球場、トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園などとして活用されてきた。阿須山中の土地だけ何の利活用もされないまま、いわゆる不良債権となっていたが、民間活力を導入しこの土地の利活用を図ろうというのが阿須山中土地有効活用事業だと思う。市長は防災や自然保護の観点から、自身の目で検証を行うということだが、事業地である阿須山中19ヘクタールの土地だけの問題とは思えない。目の前の事象だけにとらわれることなく、長年の経緯を踏まえ、本市発展の将来をも見据え結論を導いていただきたいが。

答 岩沢共有地、阿須山中の土地をめぐる今までの経緯は、野田議員の話のとおりである。阿須山中土地有効活用事業について、長年の経緯を踏まえ、本市発展の将来を見渡し、結論を導いていただきたいとのことだが、市民の中には、いまだこの事業にご理解をいただいていない方や疑問に思っている方がいる。今まで埼玉県の林地開発の許認可手続き等、正規の手続きにより進められてきた事業ではあるが、防災、自然保護の観点から私なりに検証し、できる限り早期に結論をだし、その上で市民の皆様にご説明していきたいと考えている。



トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園



市議会から 国等へ提出

意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したもの。

出産育児一時金の増額を求める意見書

厚生労働省によると2019年度の出産費用が正常分娩の場合、全国平均額は約46万円で、室料差額等を含む費用の全国平均額は約52万4千円となっている。出産にかかる費用は年々増加し、費用が高い都市部では現在の42万円の出産育児一時金の支給額では賄えない状況になっており、平均額が約62万円と最も高い東京都では、現状、出産する人が約20万円を持ち出している計算となる。

国は、2009年10月から出産育児一時金を原則42万円に増額し、2011年度にそれを恒久化、2015年度には一時金に含まれる産科医療補償制度掛金分3万円を1万

6千円に引下げ、本来分39万円を40万4千円に引き上げた。2022年1月以降の分娩から産科医療補償制度掛金を1万2千円に引下げ、本人の受取額を4千円増やすとともに、医療機関から費用の詳しいデータを収集し実態を把握したうえで増額に向けて検討することとしている。

一方、令和元年の出生数は86万5234人で、前年に比べ5万3166人減少し過去最少となった。少子化克服に向け、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるためには、子どもの成長に応じたきめ細かな支援を重ねていくことが重要であり、一時金はその大事な一手であると考えられる。

少子化対策は、我が国の重要課題の一つにほかならず、子育てのスタート期に当たる出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせない。

よって、国におかれては、現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げること強く求めるものである。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣あて



市議会を傍聴される皆様へ

議案綴の配架を開始しました

9月定例会から、傍聴者閲覧用として議案綴を3部ご用意しておりますのでご利用ください。

請願・陳情の提出方法について ……市民の声を市政に……

署名簿(例)

住 所	氏 名	印

本文(例)

〇〇〇に関する請願
(趣旨)
.....
.....
以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。
令和 年 月 日
住 所
氏 名
紹介議員 ◇◇◇◇
同 ▼▼▼▼
同 □□□□
飯能市議会議長 〇〇〇〇様

市政などについての意見や要望を議会に提出することができます。このことを請願または陳情といいます。
請願は、紹介議員(2名または3名)が必要で、議会の審査対象となり、担当の常任委員会等で慎重に審査し、本会議において採決を行います。
陳情は、紹介議員は必要ありませんが、原則として議会の審査対象にはならず、議場に陳情の写しを配付するのみとなります。
なお、住所・氏名・内容等が市議会だより等で公開されますので、ご了承ください。

※書式例(請願の場合) A4版縦書きでも可。提出者、署名者は住所、氏名(署名または記名押印)をお願いします。

市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>



新型コロナウイルス感染症対策に係る要望書を提出

審議の日程

9月定例会

- 9月 3日 開会
市長提出議案の上程・提案理由説明
- 8日 議案質疑、議案の委員会付託
- 10日 常任委員会（総務教育・経済建設）
- 13日 常任委員会（総務教育・経済建設）
- 14日 常任委員会（生活福祉）
- 15日 常任委員会（生活福祉）
- 17日 一般質問
- 21日 一般質問
- 22日 一般質問
- 28日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・質疑・討論・採決
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

7月

- 7日 広報委員会
- 15日 山間地域活性化PT会議
- 20日 埼玉県都市競艇組合議会臨時会
- 30日 埼玉西部消防組合議会定例会

8月

- 17日 代表者会議
- 19日 広域飯能斎場組合議会定例会
- 24日 全員協議会
広報委員会
- 31日 議会運営委員会

9月

- 3日 第4回定例会（9月28日まで）
広報委員会

10月

- 4日 山間地域活性化PT会議
- 8日 広報委員会

☆インターネットで視聴・閲覧できます

◆ 一般質問 ◆

飯能市議会録画

検 索



◆ 会 議 録 ◆

飯能市議会会議録

検 索



（9月定例会の会議録は11月中旬頃公開予定です。）

次回の12月定例会は

11月26日開会予定です。

会期日程等は11月22日頃内定します。

* 編集を終えて *

こんにちは。副委員長の武田です。新型コロナウイルス感染症が流行してからもうじき2年。例年ならば祭りばやしが聞こえてくる時期ですが、今年も静かな秋になりそうです。世間は新型コロナウイルス感染症の話題で溢れ、これまでコロナ不安を煽っていたメディアは、気づけばワクチン接種の不安を煽るようになっていました。江戸時代には牛の膿から作られた天然痘のワクチン接種を普及させようとした際『摂取すると牛になる』という噂が広がり、中々浸透しなかったという話があるように、いつの時代も新しいものに触れる際は不安がついてまわります。超情報化社会の到来により様々な情報が簡単に手に入るようになりましたが、負けじと私たちも常に進化をし続け、日々の不安が解消されるような情報発信をしてみたいです。（武田）

広報委員（◎委員長 ○副委員長）

◎内田 健次 ○武田 一宏 長谷川 順子
パタソン ひとみ 栗原 義幸 滝沢 修

戸田競艇場開催日（埼玉県都市競艇組合主催分）
11/3～11/7、11/17～11/22、11/27～11/30、
12/10～12/13

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

（収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。）

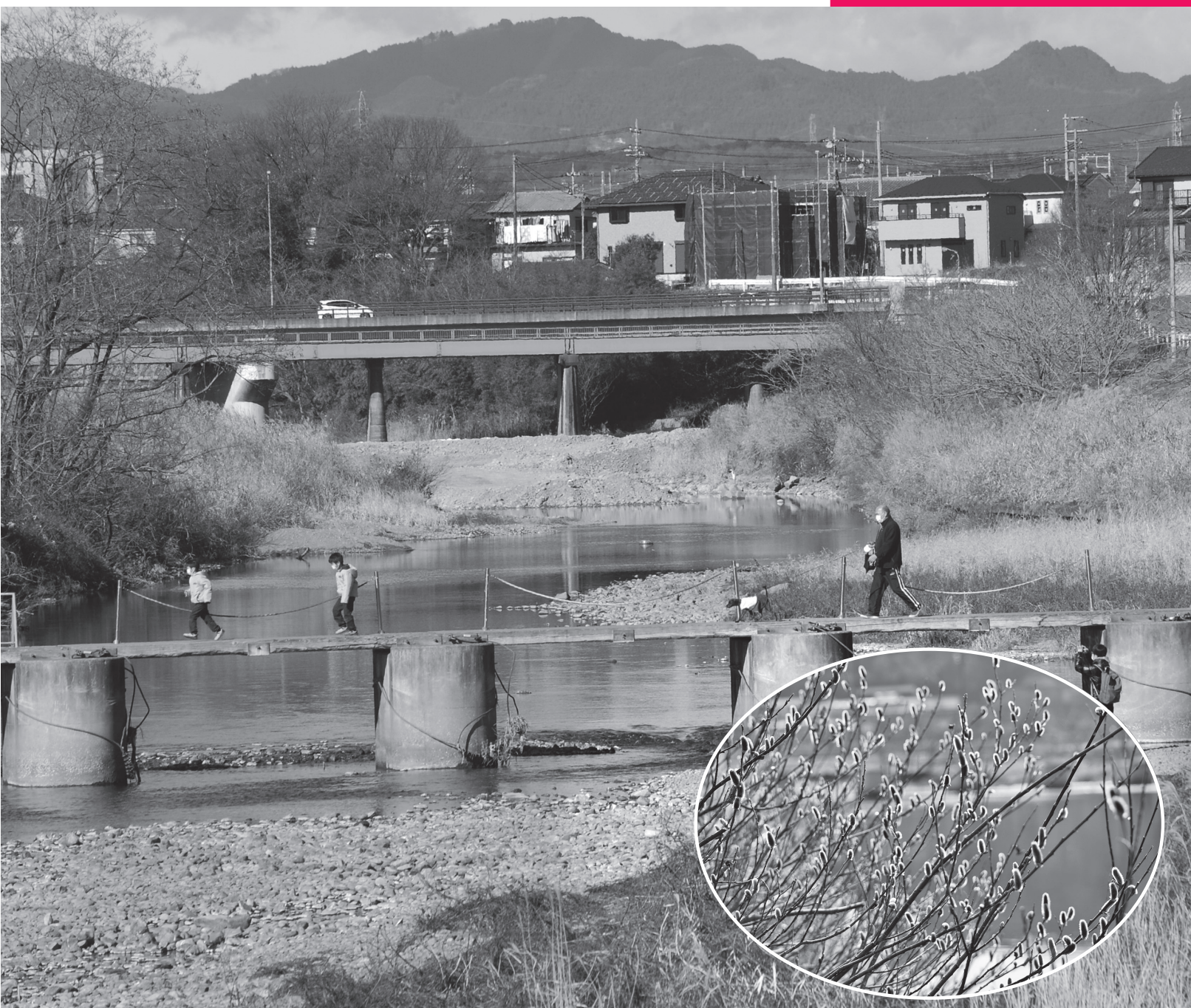
市議会だより

12月定例会

- 令和3年度一般会計補正予算案を可決
- 飯能市カヌー工房条例を廃止する条例(案)についてなど可決

目次

議案の審議	②
委員会の審査	③
議決結果・人事案件	④
市政に対する一般質問	⑤～⑩
陳情・要望等	⑪
市議会案内板	⑫



議案の審議

12月定例会は、11月26日から12月14日までの19日
間開かれ、市長提出議案32件、議員提出議案2件、その他1件
について審議等を行い、すべて議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

12月定例会

市長提出議案

⑥9 行政機構の改正に伴う関係
条例の整備に関する条例

第5次飯能市総合振興計画
の着実な推進及び市長公約実
現のため、行政機構を改正す
るに伴い、関係条例を整
備するため提案するもの。

問 福祉子ども部及び健康福
祉部にした意図は。

答 市民との対話重視を基本
姿勢とし、子ども、高齢者
障がい者などへの重層的支援
体制の強化、共生社会の実
現、安心できる子育て環境の
整備等に的確に対応するため。

⑦5 飯能市子ども医療費の支給
に関する条例の一部を改正
する条例

子どもの保健の向上と子育
て家庭の経済的負担の軽減を
図ることなどから、子どもの
医療費の支給対象年齢を拡大
するため提案するもの。

問 これまでの成果と課題は。

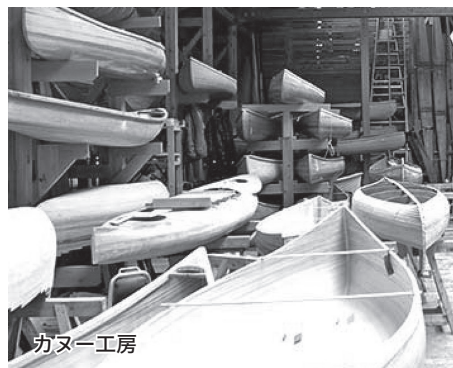
答 生活費のかかる子育て家
庭の経済的負担の軽減が
図られ、子育てしやすい環境
が整備された。一方で医療費
の無償化により安易な受診や
過剰な受診が増えることが懸
念される。

⑦⑦ 飯能市カヌー工房条例を廃
止する条例

飯能市カヌー工房を廃止す
るため提案するもの。

問 今後のカヌー工房に市と
して期待することは。

答 技術と経験、経営ノウハウ
等を最大限に発揮すると
ともに、周辺観光施設との密
接な連携により、地域のさら
なる活性化を期待する。



カヌー工房

⑧① 令和3年度飯能市一般会計
補正予算(第9号)

歳入歳出予算に、それぞれ
5億1888万6千円を追加
し、総額をそれぞれ322億
3770万5千円とするため
提案するもの。

問 コウノトリ事業による不妊
治療費助成の緩和内容は。

答 事実婚も認めること、所
得制限を撤廃したこと、
利用上限回数を子ども1人ご
とにすること。

問 放課後児童対策事業の増額
理由は。

答 待機児童が出ている美杉
台小学校区に新たに放課
後児童クラブを新設するもの。
これにより、美杉台地区の待機
児童は解消されると考える。

問 清川橋架替事業のスケジュ
ールは。

答 上部工の工場製作や下部
工事後の上部工架設工
事、併せて道路改良工事等
を行い、令和5年度末の供用開
始を目指している。



清川橋架替工事

⑨⑥ 財産の無償譲渡について

飯能市カヌー工房の建物を
無償譲渡するため提案するもの。

問 無償譲渡の経緯は。

答 地域活性化のために建物を
使用することで合意し、建
物の鑑定評価結果及び建物の使
用目的の公共性や公益性などを
勘案し、無償譲渡することに
なつたもの。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的により詳しく審査するため、総務教育、生活福祉、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。

12月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務教育委員会

委員長 梶田博之

副委員長 武田一宏

委員 長谷川順子 中元太

野口和彦 新井巧

野田直人

●行政機構の改正に伴う関係
条例の整備に関する条例

●街路整備推進課は、都市計画道路である阿須小久保線、久下六道線など主要道路の整備に取り組むこと。

●農林部は、西川材をはじめとした林業振興を強化すること、農業や農地に関しては、精明東部の土地の活用などに取り組むこと。

●子どもをめぐる問題解決に関しては、生活保護や介護福祉、障害者福祉、保育、住宅、健康など複数の分野において連携を図ること。

●令和3年度飯能市一般会計
補正予算(第9号)

●職員の欠員に関しては、業務の見直しや会計年度任用職員の配置などにより業務に支障が出ないよう対応していること。

生活福祉委員会

委員長 大津力

副委員長 内田健次

委員 熊田尚子 関田直子

金子敏江 加藤由貴夫

●飯能市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

●子ども医療費の支給対象年齢が15歳から18歳に拡大されることによる支給金額は、年間3300万円を見込んでいくこと。



●飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例

●出産育児一時金を40万4千円から40万8千円に改正するもので、市内に産婦人科がある

医療機関は1箇所であること。

●令和3年度飯能市一般会計
補正予算(第9号)

●ふるさと納税に関するポータルサイトは9月に10サイト目をオープンし、年間約1万2000件の寄付があること。

●放課後児童対策事業について、新たに美杉台地区に放課後児童クラブを新設するための土地と建物は、浄心寺からの無償貸与であること。

●令和3年10月時点での生活扶助の延べ世帯数は3775世帯で、昨年同時期より127世帯増加していること。

●保健管理事業の電子計算事務委託料は、ロタウイルスワクチンの接種歴や大人の健診データを市町村間で情報連携ができるようにするための改修であること。

経済建設委員会

委員長 栗原義幸

副委員長 パタソンひとみ

委員 坂井悦子 滝沢修

鳥居誠明 加浦弘貴

●飯能市カヌー工房条例を廃止する条例

●今後も都市と山村の交流とともに森林資源の有効利用を図る目的の継承を協定の中で定めていること。

●名栗小へのカヌーそう艇教室や駿河台大学生のインターンシップ受け入れなど、地域貢献を行っていること。

●令和3年度飯能市一般会計
補正予算(第9号)

●緑のトラスト保全事業による取得予定地は、こども図書館の向かいにある研修施設の南側に接する河岸緑地であること。

●飯能大橋の修繕設計の実施により、コンクリート劣化や舗装の損傷が確認されたため、前倒して修繕すること。

●財産の無償譲渡について

●原則、建物等への固定資産税は課税されるが、事業の公共・公益性を踏まえた減免については今後の検討事項になるものと考えていること。

令和3年12月定例会 議決結果

■全会一致の議案等

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略

議案番号	議案名	議決結果
98	副市長の選任について（町田 守弘 氏）	同意
70	飯能市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
71	飯能市の市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
72	飯能市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
80	令和3年度飯能市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
69	行政機構の改正に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
73	飯能市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
74	飯能市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
75	飯能市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
76	飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
77	飯能市カヌー工房条例を廃止する条例	原案可決
78	飯能市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
79	飯能市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
81	令和3年度飯能市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
82	令和3年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
83	令和3年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
84	令和3年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
85	令和3年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
86	令和3年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
87	令和3年度飯能市訪問看護ステーション特別会計補正予算（第1号）	原案可決
88	令和3年度飯能市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
89	令和3年度飯能市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
90	市道路線の認定について（八幡町地内）	原案可決
91	市道路線の廃止について（大字芦荻場地内）	原案可決
92	市道路線の認定について（大字芦荻場地内）	原案可決
93	市道路線の認定について（大字双柳地内）	原案可決
94	市道路線の認定について（大字岩沢、大字笠縫、大字川寺地内）	原案可決
95	市道路線の廃止について（大字前ヶ貫地内）	原案可決
96	財産の無償譲渡について	原案可決
97	財産の無償貸付について	原案可決
99	令和3年度飯能市一般会計補正予算（第10号）	原案可決
諮問2	人権擁護委員候補者の推薦について（加藤 栄子 氏）	異議はない
議提4	飯能市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決
議提5	飯能市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
	議員派遣の件	派遣

人事案件

副市長の選任について

本市の副市長として、新たに町田守弘氏を選任することについて、全員同意しました。



町田 守弘 氏

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員加藤栄子氏が令和4年3月31日をもって任期満了となるので、引き続き同氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。



加藤 栄子 氏

市政に対する

一 般 質 問

一般質問とは、市の行政全般について市長（執行部）に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。

質問する議員は、質問内容を事前に通告します。

原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は11人の議員が登壇しました。

一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されているQRコードから、該当議員の動画をご覧ください。

（ ）の中は会派名です。

梶田 博之（無所属）

柏木山周辺の課題、分散型電源について、放置空き家と固定資産税、保育所入所問題について



問 柏木山について前回の一般質問からの進捗は。

答 当事者や南高麗まちづくり推進委員会の皆さんとともに飯能にそぐわないものは撤去する方向で進んでいる。

問 入山口付近で始まった太陽光発電事業の概要は。

答 該当地は、昭和54年に都内の法人がゴルフ場開発を計画していた土地の一部で、その計画の中止により何度か転売されたのち前所有者が太陽光発電事業用地として購入し、令和2年度から開発を進めているもの。その後令和3年6月1日に現事業者「合同会社なのはな」に事業譲渡され事業を継続しているもの。

問 住宅の屋根などを使い地域の小規模エリアの電源を賄うマイクログリッド（分散型電源）での太陽光発電事業の考え方は。

答 大規模な送電網を必要としないので電力ロスが少なく、災害時も停電の影響を受けずに電力供給が可能のため、非常に有効である。また、太陽光パネルの処分や再利用については、近年少しずつその方法が確立しつつあるので大いに検討の余地がある。

問 空き家の土地の固定資産税1／6制度の考え方は。

答 住宅政策上の見地から税負担を軽減するための制度であり、200㎡までの敷地については課税標準を1／6、それを超える部分については1／3とするもの。

問 古い空き家を更地にした方の固定資産税を軽減した方がいいのではないか。

答 税の公平、中立という大原則を踏まえて慎重に考えている。

問 保育所入所で、特別な事情を持つ場合の扱いは。

答 空き状況にもよるが、必要性に応じて対応したい。



柏木山入山口付近の太陽光発電事業





栗原 義幸（公明党）

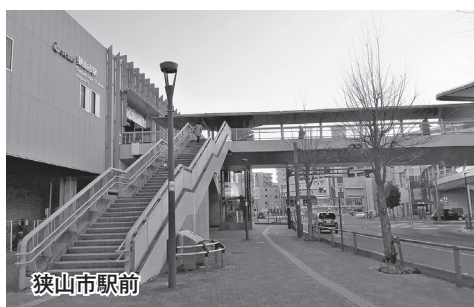
飯能駅北口の「立体交差化」で
安心・安全な駅前環境の創出と
賑わいのあるまちづくりを

問 飯能駅北口、ロータリーの出入口となる交差点は、常に歩行者の横断が多い交差点であるが、信号等も設置されていない。駅前のため、路線バスやタクシーの往来が多い場所であり、歩行者の安全対策が不十分と考える。当該箇所への歩行者の交通安全対策について、本市の取り組み状況を伺う。

答 飯能駅北口周辺における、通勤・通学時間帯の車両や人の流れについては、本市でも認識をしている。当該交差点の信号機設置について、飯能警察署では、基準に該当しないため設置はできないとの見解である。本市としては、駅前歩道付近への放置自転車の撤去、路面標示の整備などを継続的に実施している。飯能警察署においては、警察官による立哨等を行っている。

問 当該交差点の安全対策においては、駅前ということから、歩行者と車両を上下の空間に分離する「立体化」が有効である。多くの事例を見ても、利用環境の改善や駅前の活性化にも効果的である。市長においては、中心市街地の活性化とともに久下六道線の改良整備等を政策として掲げている。そこで当該交差点の「立体交差化」と併せ、北口駅前ロータリーの改修・再整備等を検討すべきと考える。市長の見解を伺う。

答 久下六道線の整備においても、道路の拡幅にとどまらず、中心市街地エリアの面的整備目標として、居心地がよく歩きたくなるまちづくりを提案し、住民の皆様と意見交換を行ったところ。駅前の「立体交差化」は、引き続き市民との対話を通して、中心市街地のまちづくりに向けて、あらゆる施策検討の中の一つとして考えたい。飯能駅は飯能市の玄関であり、安心・安全、賑わいのあるまちなかの玄関としてもふさわしいまちづくりに取り組んでいく。



狭山市駅前



長谷川 順子（無所属）

阿須山中メガソーラー問題
子どもへの暴力防止策
HPVワクチン接種は慎重に

問 阿須山中の土地について前大久保市政では「負の遺産」と説明したが、新井市長の考えは。

答 この土地の経緯については認識している。買戻し後10年間のうちに検討するとしている中で利活用を図るという考えは理解できる。

問 買戻しが終了していないうちに事業者に貸し出し、伐採と盛土・切土工事が始まっているが。

答 検証委員会の中で明らかにしていく。

問 検証委員会のメンバー及び進捗状況は。

答 市職員4名で構成し、外部の方は考えていない。申請から今までの流れを確認中で、その後に意見交換会を予定したいと考えている。

問 伐採木の搬出費用は全額事業者の負担とすべき。終了した売却代金等の議会報告を。

答 売却代金より伐採搬出経費が上回っていることを確認し、覚書を締結し、事業者が実施するもので売却先や売却代金は把握していない。

問 市内での虐待、性的虐待の発生状況は。

答 昨年度の小・中学生の虐待件数は、ネグレクト9件、心理的虐待4件、身体的虐待1件で性的虐待の報告はなかった。

問 子どもへの暴力防止講座・CAP講座を市内の子どもたちに導入する予定はあるか。

答 CAP講座の効果は認識している。導入の予定はないが、各学校と研究していく。

問 子宮頸がんワクチン接種再開にあたり、市内医師会等から意見を伺うことも重要だと思うが。

答 厚労省の審議会から見解が出されており、接種者へはワクチンの有効性・安全性等について十分な説明をお願いしていく。

問 自伐型林業の導入への補助策は。

答 山間地の活性化のため、自伐型林業と連携した事業展開は意義あることと捉える。小規模な森林整備への補助金を積極的に活用してほしい。

CAPとは、Child Assault Prevention（子どもへの暴力防止）の頭文字をとった略称
子どもたちに、安心する権利・自信を持つ権利・選択の自由、自由に生きる権利があると
いうことや、他の子が孤立しないように助け合いの大切さや護身術を教わります。

自分に大切な3つの権利



自分たちの権利を守るためにできること
イヤ NO・逃げる GO・相談 TELL

画像作成：内沼

子どもへの暴力防止講座・CAP講座





新井 巧（日本共産党）

移動手段確保は一番大きな課題
気候危機に対応した災害対策を
不登校児童・生徒にケアを

問 交通問題を単なる費用対効果としてみるのではなく、健康維持・増進、介護予防、地域コミュニティなど総合的な視点が重要だ。相当の財政負担を伴っても市政の重要な柱として位置づけることが必要だと思うが。

答 本市にとって一番大きな課題は移動手段の確保だと感じている。来年度からの後期計画に公共交通の維持・確保を位置づけ、多面的効果の視点から検討していきたい。

問 世界的に豪雨、洪水、干ばつ、竜巻など気象災害が深刻化している。令和5年度からの環境基本計画に気候危機を位置づけて、数値目標を定め、施策を進めるべきではないか。

答 太陽光など省エネ補助制度などを実施してきた。次期計画にはCO₂削減目標を定め、行政、事業者、市民とともに取り組んでいく。

問 国交省は、「気候変動を踏まえた治水計画のあり方の提言」を出した。気候変動に適応した治水計画へ転換することは待ったなしの課題とし、将来予測を活用した治水計画への転換を強調している。気候変動に対応した排水基準の見直しなどはあるか。現在の取り組みはどうか。

答 基準の見直しについては、国の動向を注視していきたい。市では、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、貯留浸透施設や南小畔川護岸整備などを行い雨水処理能力の向上を図っている。

問 コロナ禍で不登校が増えている。中高生の自殺や暴力行為も問題となっている。生活面、学習面、心のケアなど、どのように分析し対応しているか。学習支援員などを大幅に増やして対応することが必要ではないか。

答 悩みや不安を軽減できるよう個別面談、記述調査を実施し、SOSを出せるような体制を整えている。ケアの精神をもち、子どもを大切にできる支援員、介助員の任用に努力していく。



台風第19号で冠水した国道



武田 一宏（ネクストはんのう）

企業誘致の進捗と今後の展望
ヤングケアラー支援について
SDGsの取り組みについて

問 企業誘致の今後の展望とターゲットの業種は。

答 環境との調和維持を図りつつ、周辺農地等の利活用も含め、新たな産業立地手法を検討し企業誘致を展開する。また、狭山日高インターチェンジに隣接する精明東部地区の一部を特定施設誘導地域に指定し、流通系、工業系の施設・工場を誘致し雇用の創出と自主財源の確保につなげていく。

問 誘致した企業から誘致理由の調査をしているか。

答 立地した企業にお話を伺い調査している。多くの企業が立地場所とした理由の一つに地盤が堅固であることを挙げている。

問 飯能市は地盤ネットHDが制定するいい地盤の日アワード大賞を受賞した。このことをうたい文句とした企業誘致の広報を積極的に行うべきであると思うがいかがか。

答 今後もチラシや市のホームページにて、地震に強い土地であるという本市の売り前面に出し企業誘致を推進する。

問 ヤングケアラーの実態調査は行われているのか。

答 11月に教職員へのアンケート調査を行い、今後は児童・生徒へのアンケート調査を実施していく。

問 ヤングケアラーに対しての支援策は。

答 担任を中心として、スクールカウンセラーやさわやか相談員など学校職員が児童・生徒との信頼関係を築き、健康福祉部と学校教育課で情報共有し重層的支援に努めている。

問 ヤングケアラーの認知向上のための取り組みは。

答 埼玉県が作成したヤングケアラーハンドブックを各学校へ配布し、授業等で活用することで認知向上を目指す。

問 来年度実施予定の事業をSDGs未来都市事業としてエントリーをしてみたいはいかがか。

答 エントリーは地域におけるSDGsの取り組みを大きく前進させる機会である。先進自治体における取り組みや効果などを調査、研究していく。



ヤングケアラーハンドブック
出典…埼玉県HP





滝沢 修 (日本共産党)

子どもたちを交通事故から守れ
久下六道線（東銀座通り）整備
住民の声が生かされる街並みに

問 国や県は教育委員会、学校、道路管理者と連携し通学路の合同点検を実施するとともに、実効性のある交通安全対策を講じるよう通達した。県内の学校や幼稚園などが5月から7月に行った通学路の安全点検で改善要望があった箇所が9,087箇所あったとされている。飯能市の状況はどうか。

答 国からの通知を受け、学校と保護者による通学路点検が実施され、市の所管分として88箇所の要望があった。危険度や緊急性の高い箇所から優先順位をつけ、計画的に整備する。

問 11月18日、21日に久下六道線整備意見交換会が開催され、駅前通り交差点から297mを「居心地がよく歩きたくなる」まちなかの創出として道路幅16m、歩道を4.5mで整備をする案が示された。整備によりまちの活性化が図られるのか。

答 都市の骨格形成と、良好な都市環境の確保からまちの発展に寄与するものと考えている。

問 ウォーカブルなまちづくりとして松山市や出雲市などの例が説明されたが、飯能市にあてはまるのか。

答 国交省の資料で説明したが、歩きやすくなった歩道の利活用や店舗の増加などの効果が発揮され今後の飯能市のまちづくりの参考になると思う。

問 松山市や出雲市では、地元と対話を重ねながら地域住民や学生、公募者などによるワークショップも開催している。地元の方と一緒に街並みをどのようにしたいのか、そこからの検討が必要ではないか。

答 市の東の玄関口となるこの道路をどのように整備していくのか、関係される方などの意見を聞いていく。ワークショップなどの開催も検討していきたい。



久下六道線（東銀座通り）



熊田 尚子 (公明党)

H P Vワクチン積極的勧奨再開
に向けての対応について
災害時のトイレ対策について

問 子宮頸がん予防(H P V)ワクチン定期接種の積極的勧奨が再開されることになった。命に関わるがんを予防できるワクチンとして、小学校6年生から高校1年生の全対象者に郵送通知し、ワクチンの効果と副反応について丁寧な周知と、市民の疑問に寄り添った対応をするべきと考えるが、どのような周知を予定しているか。

答 個別に詳しい説明が掲載される新たなリーフレット、予診票などを送付するとともに、市ホームページに記事を掲載するなどして、保護者がワクチンの特性について理解したうえで接種するかどうかの判断ができるよう広く丁寧に周知していく。周知の対象は、ワクチンの供給量など、関係機関と調整しながら、より多くの対象者へ周知できるよう検討していく。

問 定期接種年齢を過ぎ、接種機会を逃してしまった高校生や大学生相当の女子へ、キャッチアップ接種の救済制度が導入された場合の本市の対応は。

答 積極的勧奨が差し控えられていた期間に接種機会を逃した方のキャッチアップについては、国の動向を注視し、国の決定に基づき、接種可能な方が漏れることなく、接種の機会を逸することのないよう、適切に対応していく。

問 東日本大震災において、避難所の生活による死因が1/3を占めており、災害時のトイレ対策は、生死に関わる重要な課題となっている。トイレ問題を解決する一つの方策として、移動式トイレトレーラーを導入してはどうか。

答 避難者に普段のトイレと変わらない環境を提供することによる衛生面の確保等のメリットがあるが、平常時の活用等の課題も認識しており、避難者が安全で安心して避難所で過ごすことができるよう良好な環境の整備に努め、今後先進自治体の事例を調査研究していく。



トイレトレーラー 出典:JPホームサプライ(株)





坂井 悦子（日本維新の会）

選挙公営の見える化
リカレント教育への対応
ふるさと納税

問 選挙運動費用の公費負担を行う制度は、住民監査請求や返還が全国的に見られる。収支報告書の要旨をインターネット上に公表しては。

答 慎重な判断が必要。現在は飯能市役所前掲示場での告示により公表。

問 選挙用ポスター印刷費は、満額請求し差額で対象外の印刷をさせる、キックバックで政治献金を受ける例も。今年の飯能市議選は、候補者21名中過半数以上が20～30万円台、7名が限度額付近50万円前後の請求。明細記載の契約書添付等、確認可能な仕組みの導入は。

答 現公職選挙法施行規則に準じて規定した様式により提出を求めている。

問 政府は「仕事に生かせる知識やスキルを学ぶリカレント教育」と「生涯学習」を混同しないよう記載。政府方針との整合性や工夫は。

答 重要性を理解し、本来のリカレント教育支援につながる学習機会の創出や充実を図り、社会人が学びやすい環境の整備を進める。関係部署との連携を強化し情報発信にも努める。

問 ふるさと納税の経費割合は。費用圧縮、委託先の費用対効果を見定める必要があると考えるが。

答 経費全体で約45%～48%。経費削減に努め、費用対効果の現れる訴求方法等を今後も追及。

問 ムーミン基金条例の設置目的等を見直し、より市民・市全体にメリットがあるよう改正しては。

答 ムーミン基金は「北欧やムーミンの世界と連携した観光施策の推進」に限り処分が可能。ライセンスとの交渉で現在の用途をもって基金名に「ムーミン」を冠しているため、従来通り。

問 新井市長の今後の方針は。ムーミン関連で既存事業を指定して用途を増やすなどの検討は。ふるさと納税全般で各基金のあり方の再検討は。

答 現行の各基金は残しつつ、用途について最適な方法を検討する。

リカレント教育とは

「生涯を通じて学び続けていくこと」



学校卒業後も仕事と交互に
教育を受けていくことが
望ましいとされる

今の時代に求められる知識・スキル
にアップデートする

スキルアップ

キャリア形成

など



野口 和彦（チームはんのう）

人口増加政策について

問 コロナ禍になりテレワークという会社に通わなくても働ける社会的に大きな変化が起こっている。例えば、まるひろの最上階は何年も空きスペースとなっており、ここを行政がシェアオフィスとして積極的に借り上げて民間委託をするような積極性が必要ではないか。

答 働く場が増えれば多くの人が集まってくることから、様々な取り組みの中で、雇用機会の創出を図り、若者に選ばれるような人口増加策につなげていきたい。

問 文部科学省では、国際バカロレア教育を推進しており、公立のインターナショナルスクールを市内で提供することができれば、グローバル社会に対応できる人材を育成することができる。個人的に考えているのが、幼児から小中高までの一貫した国際バカロレア教育を市内で受け、大学は海外へ繋げるような環境が整備できれば、英語教育目的で移住を検討される方も増えるのではないか。

答 市外の方が移住してでも子どもを飯能市の学校に通わせたいと思うような特色ある学校になれば、より素晴らしいことであるとする。

問 埼玉版スーパー・シティプロジェクトに参画し、立地適正化計画も含み、改めて飯能市の30年先の未来を見据えたまちづくり計画を、後期基本計画の実施期間の中で策定してはいかがか。

答 令和7年度での目標人口8万人の実現に向け、あらゆる施策、計画により取り組んでいく。なかでも、土地利用に関する考え方を定める都市計画の重要性を強く感じているところである。



埼玉版スーパー・シティプロジェクト

出典：埼玉県HP





金子 敏江（日本共産党）

飯能第一小学校校舎建て替えを
美杉台小学校区学童保育所の増
設を予算化へ

問 飯能第一小学校は歴史ある小学校。昭和33年頃は児童数2,500人もの時代もあったが令和3年は600人と減少。校舎は老朽化が激しく、雨漏りや一部のトイレが使用できず、冷暖房設備もギリギリの状態。校舎の建て替えを早急に検討する時期ではないか。

答 飯能第一小学校の現在の校舎は、昭和41年から44年にかけて建設され、建設後50年以上が経過している。平成11年から13年にかけて校舎の耐震補強工事を実施しているが、大規模な改修工事を行っていない。近年は、修繕等の維持管理費が増大している状況。特に、給排水設備の老朽化は深刻で修繕することもできずトイレ、水道等の使用が不可能となっている箇所も多い。外装に著しい劣化があり、設備も耐用年数を大幅に超えている状況。今年度、第一小学校校舎の長寿化計画の策定から基本構想を検討し今後の整備方針を決定していくための基礎的な資料作成等について整備計画策定支援業務を委託した。今後は、庁内横断的な部署による検討体制を組み、学校としての機能を踏まえたうえで他の公共施設との関連も視野に入れ、施設の多機能化、集約化、複合化など有効活用について協議・検討していく考えである。

問 美杉台小学校区の児童数増に伴う学童保育所の整備が追いつかず、4年生以上では退所せざるを得ない状態が続いてきた。増設の見通しはどうか。

答 学童保育所の運営を委託しているNPO法人ぬくもり福祉会たんぽぽを通じて、美杉台児童館の近隣にある浄心会館の所有者である浄心寺住職様から、地域のためにと土地建物の売却もしくは借用のお話を頂戴した。所有者と運営者と協議を重ね、土地建物は借用し、必要な修繕費、備品購入費を予算化した。



建て替え協議に入った飯能第一小学校



パタソンひとみ（チームはんのう）

語学教育について 授業数、検
定料、ICT活用、国際交流に
ついて 中学生の交流活動

問 新学習指導要領によって増えた英語教育の授業数は確保できているのか。

答 小学校は週に1コマ分、中学校は週に2コマ分の授業数が確保できている。

問 C A N - D Oリストの活用が高校のみならず、小・中学校で推進されているが、現状は。

答 「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」が提言される中・高等学校において卒業時の到達目標を設定し4技能5領域での「～することができる」の形で設定するもので、中学校では活用されているが、小学校では今後の導入が見込まれる。

問 国際社会で活躍し、世界に通用する実践的な語学力の習得の強化がなされているが、コロナ禍で家計は圧迫されている中、英語検定の受検意欲を高めるためにも、英検に限らず検定料の公費補助はどのようにになっているか。

答 現在、英検の検定料補助は行っていない。受験についても任意であるため各家庭による負担となっているが、今後、公費補助の必要性について慎重に研究していく。

問 英語教育にICTを活用した授業の取り組みを。

答 写真や動画等を提示しながらスピーチし、自らのスピーチを録音し、学級で共有したりアメリカ在住の方とオンライン交流や外国語授業などの交流活動を行い、活用している。

問 全児童・生徒へ切れ目ない一貫した取り組みは。

答 より質の高い教育を行うため、小・中学校で連携しているが、中学・高校はまだ課題がある。意欲を高めていけるよう努める。

問 これからの全児童・生徒のためにも、コロナ禍で中断している姉妹都市・ブレア市との国際交流の再開の現状は。

答 ICTを活用したバーチャル交流を来年1～2月に中学生とブレア市の高校生で開催する。

飯能市・ブレア市姉妹都市提携 40周年記念写真展の様子

Movies of the commemorate photo
exhibition held for 40th anniversary
of a sister city agreement between
Hanno City and Brea City



市民から
市議会へ提出

陳情

○の中の数字は陳情番号

③陳情書（空き家・空き地等の有効活用に限定した宅地建物取引士証の提示による固定資産評価証明書の交付に関する件等）

提出者

埼玉県建政政治連盟

彩西地区

地区長 奥富

浩

要望

母（毛嘉彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望

提出者

付 偉 彰

◆飯能市の先進事例を視察に来られました◆

市町村議会行政視察受入一覧			
月 日	市町村議会名	人 数	視察内容
10月21日(木)	和歌山県海南市議会 議会運営委員会	12	・タブレット端末を活用した議会運営について（オンライン視察）



広報委員会では、市民の皆さんに「読みやすく」「分かりやすい」市議会だよりをお届けするため、現在リニューアルを検討しています。

10月29日には、市議会だよりがマニフェスト大賞の優秀賞を受賞したあきる野市議会をオンラインで視察しました。

リニューアル号は、5月1日に発行される市議会だよりの予定です。

市議会だよりを
リニューアルします！

市議会だより
有料広告を募集します！



リニューアルの一環として、市議会だよりへの有料広告を募集します。

企業や事業のPRにご活用ください。

- 年4回（5月・8月・11月・2月）発行
- 各号約2万9千部を発行
- 各世帯への配付と公共施設への配架
- 広告サイズは4種類（1万円から）

※詳しくは、市ホームページが議会事務局へお問い合わせください。

印刷のことなら
何でもご相談ください。

□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□。

〇〇〇印刷（株）

☎042(000)0000 FAX042(000)0000
飯能市〇〇〇 000-00

このサイズ
（縦45mm×横60mm）で
掲載料は1万円です。

市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>



あきる野市議会をオンライン視察

審議の日程

12月定例会

- 11月 26日 開会
市長提出先議議案の上程・提案理由説明・質疑・討論・採決
市長提出その他議案の上程・提案理由説明
- 12月 1日 議案質疑・議案の委員会付託
2日 常任委員会（総務教育・生活福祉・経済建設）
7日 一般質問
8日 一般質問
9日 一般質問
14日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・質疑・討論・採決
埼玉県都市競艇組合議会議員選挙
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

10月

- 8日 広報委員会
12日 議員提案条例に関する勉強会
28日 埼玉県都市競艇組合議会定例会

11月

- 9日 代表者会議
15日 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
埼玉西部消防組合議会臨時会
16日 全員協議会
広報委員会
22日 議会運営委員会
26日 第5回定例会（12月14日まで）
広報委員会

12月

- 14日 広報委員会
20日 議員提案条例に関する勉強会

1月

- 7日 広報委員会

☆インターネットで視聴・閲覧できます

◆ 一般質問 ◆

飯能市議会録画

検 索



◆ 会議録 ◆

飯能市議会会議録

検 索



（12月定例会の会議録は令和4年2月中旬頃公開予定です。）

次回の3月定例会は
2月25日開会予定です。

会期日程等は2月22日頃内定します。

* 編集を終えて *

こんにちは。広報委員の長谷川です。広報委員となつて、もうすぐ1年になろうとしています。

議員として、また広報委員として市民の皆さまには何が必要なのか、その実現のためにはどうすればよいのか日々考えています。飯能市は人と文化と風土が交じり合い、新しいコトが始まるなど、とても魅力のあるまちです。”誰もが安心して暮らせるまち”となるように今後も小さな声にこそ耳を傾けていきたいです。

そのため、広報委員会では市民の皆さまに市議会がより身近に感じられる「市議会だより」となるようにオンライン視察を行うなど、刷新するべく毎月検討を重ねています。リニューアル第1号は次回の5月1日号です。

ぜひご期待ください。（長谷川）

広報委員（◎委員長 ○副委員長）

◎内田 健次 ○武田 一宏 長谷川 順子
パタソンひとみ 栗原 義幸 滝沢 修

戸田競艇場開催日（埼玉県都市競艇組合主催分）
2/5～2/8、2/19～2/24、3/24～3/27

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

（収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。）



※ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。